

令和6年度 泉松陵高等学校 学校評価

『 学校評価アンケート集計 』

◎ 項目

(1) 学校オリジナル・県共通 29 項目

◎ 実施日 令和6年11月6日～11月13日

◎ 集計の特徴

(1) 集計項目を精選

- ・生徒・保護者・職員のアンケートを、項目ごとにまとめて表示

(2) 「評価度」の活用

- ・評価度とは、個人の評価（◎:2、○:1、△:-1、×:-2）
- ・評価度とは分布の割合から評価度の平均を算定したもの
- ・ $-2 \leq$ 「評価度」 ≤ 2 であり、2に近づくほど評価は高い

(3) 評価における比較の多元化の維持

- ・生徒・保護者・職員の比較を、①年度間、②男女間、③学年間で比較が可能

(4) 評価のグラフ化

- ・生徒・保護者・職員毎に積み立て棒グラフで視覚化

(5) 分析のコメント作成

- ・生徒・保護者・職員と全体の分析を簡単なコメントで表現

令和6年度 学校評価アンケート 関連事項毎 分析・考察

1 スクールポリシーに基づいた教育課程編成

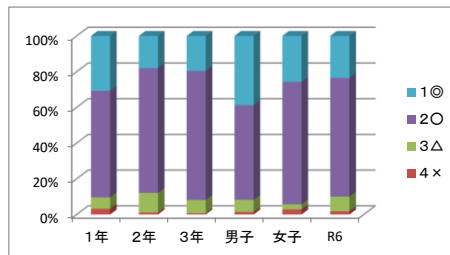
教務

【生徒用】

1 学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程編成が行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6計	R5計	R4計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	31%	18%	20%	39%	26%	23%		
2○	だいたい当てはまる	1	60%	70%	72%	53%	69%	66%		
3△	あまり当てはまらない	-1	6%	11%	7%	7%	3%	8%		
4×	当てはまらない	-2	3%	1%	1%	1%	3%	2%		
人数計			218	183	148	279	270	549		
評価度 (-2~2)			→	1.08	0.93	1.03	1.21	1.11	1.01	

100% 100% 100% 100% 100% 100%

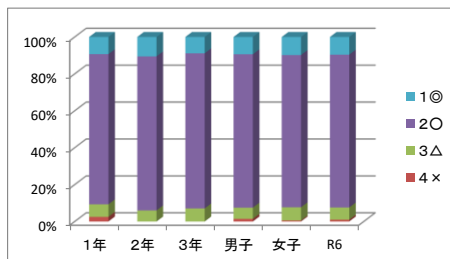


【保護者用】

1 学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程編成が行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6計	R5計	R4計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	9%	11%	9%	9%	10%	10%		
2○	だいたい当てはまる	1	81%	83%	84%	83%	82%	83%		
3△	あまり当てはまらない	-1	7%	6%	7%	6%	7%	7%		
4×	当てはまらない	-2	2%	0%	0%	1%	1%	1%		
人数計			161	133	113	213	194	407		
評価度 (-2~2)			→	0.88	0.98	0.95	0.93	0.94	0.93	

100% 100% 100% 100% 100% 100%

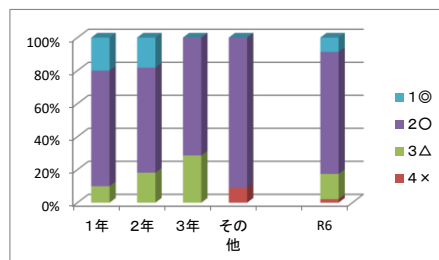


【職員用】

1 学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程編成が行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6計	R5計	R4計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	20%	18%	0%	0%		9%		
2○	だいたい当てはまる	1	70%	64%	71%	91%		72%		
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	18%	29%	0%		15%		
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	9%		2%		
人数計			10	11	14	11		46		
評価度 (-2~2)			→	1.00	0.82	0.43	0.73		0.70	

100% 100% 100% 100% 0% 98%



生徒用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」が全体のおよそ9割となっており、概ね良好である。
	年度間比較	
	男女間比較	特に男女間の差はみられない。
	学年間比較	特に学年間の差はみられない。
保護者用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」が全体の9割を超えている。概ね良好である。
	年度間比較	
	男女間比較	特に男女間の差はみられない。
	学年間比較	特に学年間の差はみられない。
職員用	今年度全体特徴	生徒・保護者に比べ、「あまり当てはまらない」と答えた割合が多い。
	年度間比較	
	学年間比較	特に、3年生で「あまり当てはまらない」と答えた割合が多い。
全体		「よく当てはまる」、「だいたい当てはまる」が全体として多く、概ね良好である。

2 学ぶ意欲・学力を身につける授業

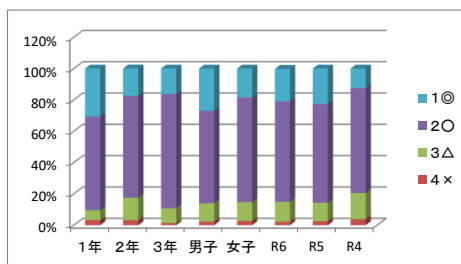
教務

【生徒用】

2 生徒にとって、学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	27%	17%	16%	25%	14%	21%	23%	12%	
2○	だいたい当てはまる	1	58%	65%	73%	60%	76%	64%	63%	67%	
3△	あまり当てはまらない	-1	14%	14%	9%	12%	10%	13%	12%	17%	
4×	当てはまらない	-2	2%	3%	1%	3%	0%	2%	3%	4%	
人数計			218	183	148	279	270	549	633	618	
評価度(-2~2)			→	0.94	0.79	0.93	0.93	0.94	0.89	0.91	0.67

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

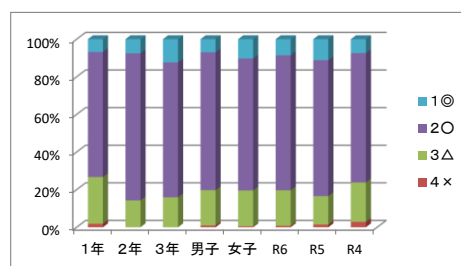


【保護者用】

2 お子さんの学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	7%	8%	12%	7%	10%	9%	11%	7%	
2○	だいたい当てはまる	1	66%	78%	72%	73%	70%	72%	72%	69%	
3△	あまり当てはまらない	-1	25%	14%	16%	19%	19%	19%	15%	21%	
4×	当てはまらない	-2	2%	0%	0%	1%	1%	1%	1%	3%	
人数計			161	133	113	213	194	407	555	525	
評価度(-2~2)			→	0.52	0.79	0.81	0.67	0.71	0.68	0.77	0.57

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

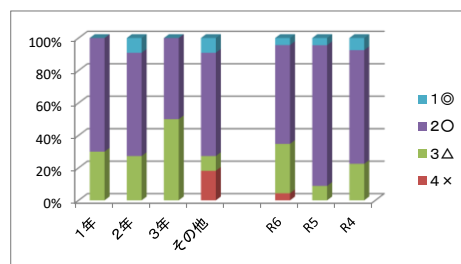


【職員用】

2 生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけるような授業が行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	0%	9%	0%	9%		4%	4%	8%	
2○	だいたい当てはまる	1	70%	64%	50%	64%		60%	87%	70%	
3△	あまり当てはまらない	-1	30%	27%	50%	9%		30%	9%	23%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	18%		4%	0%	0%	
人数計			10	11	14	11		46	45	40	
評価度(-2~2)			→	0.40	0.55	0.00	0.36		0.30	0.87	0.63

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	「学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われているか」との質問項目に対して、「よく当てはまる」と回答した生徒が一昨年に比べて多かった。
	年度間比較	過去2年間とほとんど同じ。
	男女間比較	男子の方が「よく当てはまる」と回答した割合が高いが、肯定的回答は男女差はあまりない。
	学年間比較	全学年で学力を身につけられるような授業が行われていると肯定的に考える生徒が多い。ただし、2年生で「当てはまらない」が1・3年生に比べて若干多くなっている。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と同じ傾向が見られる。R5年度同様、保護者は「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した割合が高い。
	年度間比較	過去2年間とほとんど同じ。
	男女間比較	男女ともに「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した割合が80%である。
	学年間比較	1年生保護者の「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した割合が一番低い。
職員	今年度全体特徴	一昨年と同様かそれ以上に、生徒・保護者と職員の間評価の差がある。
	年度間比較	3年間で今年度が一番否定的回答が多く、否定的回答は職員の1/3を超えている。
	学年間比較	3年生の評価度が0.00と、肯定的回答と否定的回答が同じ割合であった。
全体		生徒の評価度がだいたい0.9なのに対して、職員の評価度が0.3と、かなりの差が生じている。授業を行っている職員側のこの質問項目に対する評価度が低いという結果については、深刻に受け止めなければならない。職員の研究授業の実施率が低いということも、この結果に影響しているのかもしれない。

3 基本的生活習慣の確立に関する指導

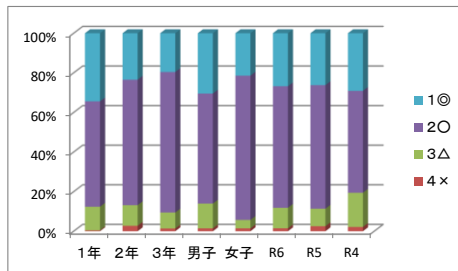
教務・生徒

【生徒用】

3 生徒にとって、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	34%	23%	20%	30%	21%	27%	26%	29%	
2○	だいたい当てはまる	1	53%	63%	71%	56%	73%	61%	62%	51%	
3△	あまり当てはまらない	-1	12%	10%	8%	13%	4%	10%	9%	17%	
4×	当てはまらない	-2	0%	3%	1%	1%	1%	1%	3%	2%	
人数計			218	183	148	279	270	549	633	649	
評価度 (-2~2)			→	1.01	1.09	0.94	1.01	1.09	1.01	1.01	0.88

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

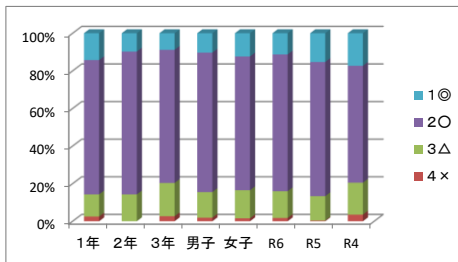


【保護者用】

3 生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	14%	10%	9%	10%	12%	11%	15%	17%	
2○	だいたい当てはまる	1	71%	76%	71%	74%	71%	73%	71%	62%	
3△	あまり当てはまらない	-1	12%	14%	18%	14%	15%	14%	13%	17%	
4×	当てはまらない	-2	2%	0%	3%	2%	2%	2%	0%	4%	
人数計			161	133	113	213	194	407	555	542	
評価度 (-2~2)			→	0.83	0.81	0.65	0.77	0.78	0.77	0.88	0.73

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

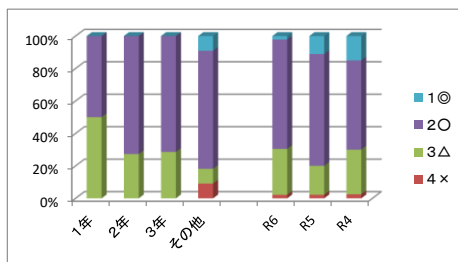


【職員用】

3 生徒に対して、挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	9%		2%	11%	15%	
2○	だいたい当てはまる	1	50%	73%	71%	73%		66%	69%	55%	
3△	あまり当てはまらない	-1	50%	27%	29%	9%		28%	18%	28%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	9%		2%	2%	3%	
人数計			10	11	14	11		46	45	40	
評価度 (-2~2)			→	0.00	0.45	0.43	0.64		0.38	0.69	0.53

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	全体として、「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した生徒が多く、自己評価が高いことがわかる。
	年度間比較	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答している生徒の割合は昨年と同率であった。
	男女間比較	ほぼ同率の回答であるが、女子の方がやや守れている自覚が高い。
	学年間比較	学年間の差はほぼない。
保護者用	今年度全体特徴	生徒よりも評価度が低い。
	年度間比較	評価度自体は昨年度より若干下降している。
	男女間比較	男女間の差はほぼない。
	学年間比較	3学年の評価度がやや低くなっている。
職員	今年度全体特徴	基本的生活習慣の確立に関する指導が行われていると回答している教職員の割合は68%である。
	年度間比較	今年度は肯定的評価がかなり低下した。
	学年間比較	全学年で評価度はほぼ変わらないが、1学年では「だいたい当てはまる」と「当てはまらない」と答えた教職員が半々であった。
全体	基本的生活習慣については、職員の評価の低さが目立つ。指導の様子・意義は生徒や保護者に概ね理解されていると考えるが、もう少し指導できると考えている職員も多いと考えられる。学年ごとの数値の差があるので、学校全体で生徒指導をするために、職員全員が情報を共有して対応していく必要がある。	

4 進路目標の明確化に向けた適切な指導

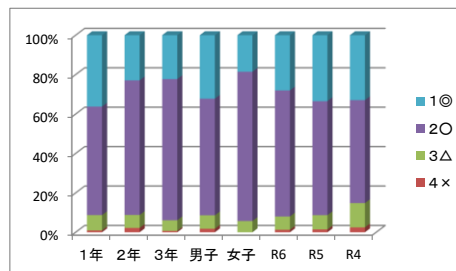
進路

【生徒用】

4 生徒にとって、進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	36%	23%	22%	32%	19%	28%	33%	33%
2○	だいたい当てはまる	1	55%	68%	72%	59%	76%	64%	58%	52%
3△	あまり当てはまらない	-1	8%	7%	5%	7%	6%	7%	7%	12%
4×	当てはまらない	-2	1%	2%	1%	2%	0%	1%	1%	2%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	649
評価度 (-2~2)			→ 1.18	1.03	1.09	1.13	1.07	1.11	1.15	1.01

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

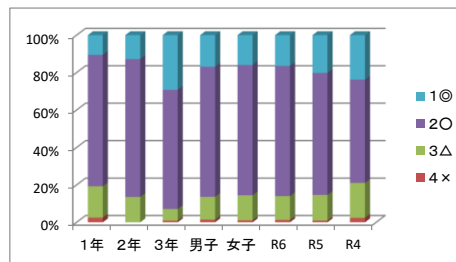


【保護者用】

4 お子さんの進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	11%	13%	29%	17%	16%	16%	20%	24%
2○	だいたい当てはまる	1	70%	74%	64%	69%	70%	69%	65%	55%
3△	あまり当てはまらない	-1	17%	14%	6%	12%	13%	13%	14%	19%
4×	当てはまらない	-2	2%	0%	1%	1%	1%	1%	1%	2%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	542
評価度 (-2~2)			→ 0.70	0.86	1.14	0.88	0.86	0.87	0.90	0.79

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

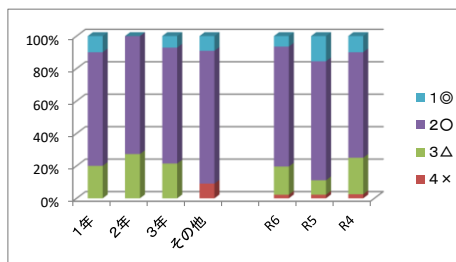


【職員用】

4 生徒の進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	10%	0%	7%	9%		6%	16%	10%
2○	だいたい当てはまる	1	70%	73%	71%	82%		72%	73%	65%
3△	あまり当てはまらない	-1	20%	27%	21%	0%		17%	9%	23%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	9%		2%	2%	3%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ 0.70	0.45	0.64	0.82		0.64	0.91	0.58

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	各学年とも「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と答えた割合が9割を超え、3学年の評価度が最も高かった。
	年度間比較	全体評価は肯定的評価が増加傾向にあり、「あまり当てはまらない」の割合は昨年度と同様に低い水準である。
	男女間比較	男女ともあまり差は無いが、若干女子の方が肯定的評価の割合が高い。
	学年間比較	2学年の割合が他の学年に比べると若干低くなっているのは例年と同じ傾向である。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と比較するとやや低い評価度となるのは例年と同じ傾向だが、肯定的評価は例年と同率であった。
	年度間比較	評価度は昨年度より若干下がったが、昨年とほぼ同様の水準である。
	男女間比較	男子の方が若干肯定的である。
	学年間比較	3学年の評価度が最も高くなっている。
職員	今年度全体特徴	昨年度と比較すると「よく当てはまる」の評価度が下がった。
	年度間比較	「あまり当てはまらない」と回答する職員の割合が昨年度よりも増加した。
	学年間比較	「その他」で「当てはまらない」と回答した職員の割合が9%となっている。
全体	例年、生徒と保護者の評価と比較して職員の評価が低い傾向にある。昨年度は評価度が上昇し、保護者とほぼ同じ評価度となっていたが、今年度は一昨年度と同様の水準となった。特に「その他」の職員から「当てはまらない」という評価が出されていることや、どの学年でも「あまり当てはまらない」と回答している職員が20%程度見られることから、今後も進路目標とそのため取り組みについて、学年内および学年間で十分に目線合わせを行う必要があると考えられる。	

5 教育相談の体制

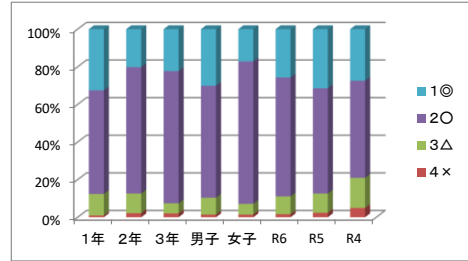
保厚

【生徒用】

5 生徒にとって、教員やカウンセラーが必要なときに相談に応じてくれる体制ができている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	33%	20%	22%	30%	17%	26%	31%	27%	
2○	だいたい当てはまる	1	55%	67%	70%	59%	76%	63%	56%	52%	
3△	あまり当てはまらない	-1	11%	10%	5%	9%	6%	9%	10%	16%	
4×	当てはまらない	-2	1%	2%	2%	1%	1%	2%	2%	5%	
人数計			218	183	148	279	270	549	633	649	
評価度 (-2~2)			→	1.07	0.93	1.05	1.08	1.01	1.02	1.04	0.81

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

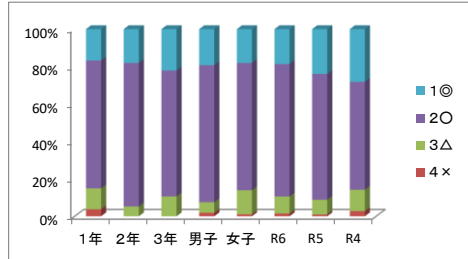


【保護者用】

5 生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	17%	18%	22%	19%	18%	19%	24%	28%	
2○	だいたい当てはまる	1	68%	77%	67%	73%	68%	71%	67%	58%	
3△	あまり当てはまらない	-1	11%	5%	11%	6%	13%	9%	8%	11%	
4×	当てはまらない	-2	4%	0%	0%	2%	1%	1%	1%	3%	
人数計			161	133	113	213	194	407	555	543	
評価度 (-2~2)			→	0.83	1.08	1.01	1.02	0.89	0.96	1.05	0.97

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

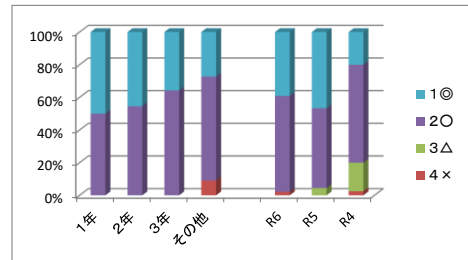


【職員用】

5 生徒に対して、教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	50%	45%	36%	27%		38%	47%	20%	
2○	だいたい当てはまる	1	50%	55%	64%	64%		57%	49%	60%	
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	0%	0%	0%		0%	4%	18%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	9%		2%	0%	3%	
人数計			10	11	14	11		46	45	40	
評価度 (-2~2)			→	1.50	1.45	1.36	1.00		1.30	1.38	0.78

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	SCや担任教諭を中心とした相談体制が、ある程度充実してきたと考えられる。
	年度間比較	肯定的評価が増加傾向を示しており、相談に応じてくれる体制に対する満足度が高まっている。
	男女間比較	女子の方が男子よりも、相談体制に対する満足度が低い傾向が見られる。
	学年間比較	評価度は比較的1年生が高い。
保護者用	今年度全体特徴	肯定的評価が9割である。
	年度間比較	今年度は「あまり当てはまらない」の割合が若干増えた。
	男女間比較	生徒の男女間比較と同様の傾向が出ており、男子の保護者の方が評価度が高い。
	学年間比較	1年生の評価が低い。
職員	今年度全体特徴	生徒や保護者の評価度よりも職員の評価度が高くなっている。
	年度間比較	「当てはまらない」の割合が増えた。
	学年間比較	その他で「当てはまらない」が9%となっている。
全体	教育相談体制の満足度は生徒・保護者の全てで高まっている。生徒や保護者の悩みに対応する体制の充実やスピード感の高まりが生徒・保護者・職員に実感されていると考えられる。	

6 部活動の活発化

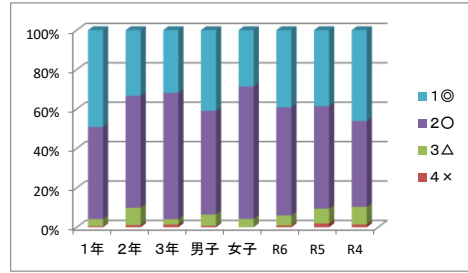
生徒

【生徒用】

6 学校として、部活動は活発に行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	49%	33%	32%	41%	29%	39%	39%	46%
2○	だいたい当てはまる	1	47%	57%	64%	53%	67%	55%	52%	44%
3△	あまり当てはまらない	-1	4%	9%	3%	6%	4%	5%	8%	9%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	1%	1%	0%	1%	2%	1%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	649
評価度 (-2~2)			→ 1.40	1.13	1.22	1.27	1.20	1.26	1.18	1.24

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

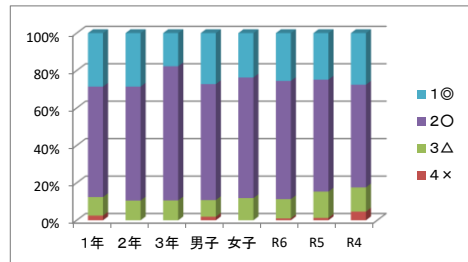


【保護者用】

6 学校として、部活動は活発に行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	29%	29%	18%	27%	24%	25%	25%	28%
2○	だいたい当てはまる	1	59%	61%	72%	62%	64%	63%	60%	55%
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	11%	11%	9%	12%	10%	14%	13%
4×	当てはまらない	-2	2%	0%	0%	2%	0%	1%	1%	5%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	541
評価度 (-2~2)			→ 1.01	1.08	0.96	1.04	1.00	1.02	0.93	0.88

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

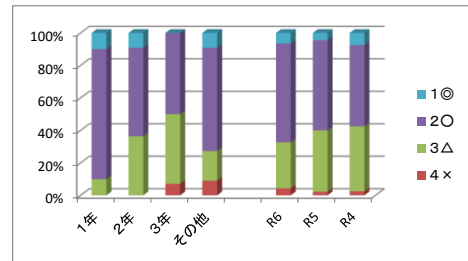


【職員用】

6 学校として、部活動は活発に行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	10%	9%	0%	9%		6%	4%	8%
2○	だいたい当てはまる	1	80%	55%	50%	64%		60%	56%	50%
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	36%	43%	18%		28%	38%	40%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	7%	9%		4%	2%	3%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ 0.36	0.36	-0.07	0.45		0.36	0.22	0.20

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	94%の生徒が、「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した。
	年度間比較	この3年間では評価度は一番高い。
	男女間比較	男子生徒の方が、「よく当てはまる」と回答している生徒の割合が高い。
	学年間比較	評価度は、1学年→3学年→2学年の順で高い。
保護者用	今年度全体特徴	88%の保護者が、「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した。
	年度間比較	この3年間では評価度は一番高い。
	男女間比較	男女共に、前向きな回答である。男子の保護者の方がより高く評価している。
	学年間比較	評価度は、2学年→1学年→3学年の順で高い。
職員	今年度全体特徴	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した職員は全体の66%だった。
	年度間比較	3年間で「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した職員が増加している。
	学年間比較	「よく当てはまる」と回答した職員は1学年:10%、2学年:9%、3学年:0%であった。
全体	生徒・保護者と職員との間で大きな差が見られた。生徒・保護者は部活動は活発に行われていると感じている一方、職員はあまり部活動を活発だとは思っていない。評価度は全体的に微増傾向にある。	

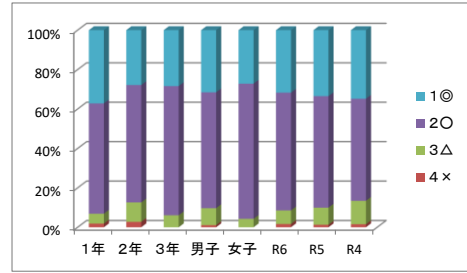
7 生徒会活動の活発化

生徒

【生徒用】

7 学校として、生徒会活動は活発に行われている。

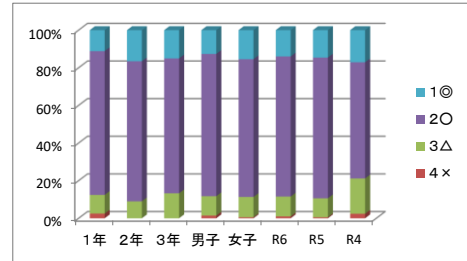
no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	37%	28%	28%	32%	27%	32%	33%	35%
2○	だいたい当てはまる	1	56%	60%	66%	59%	69%	60%	57%	52%
3△	あまり当てはまらない	-1	5%	10%	6%	9%	4%	7%	9%	12%
4×	当てはまらない	-2	2%	3%	0%	1%	0%	2%	1%	2%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	649
評価度 (-2~2)			→ 1.22	1.00	1.16	1.11	1.19	1.13	1.12	1.06
			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



【保護者用】

7 学校として、生徒会活動は活発に行われている。

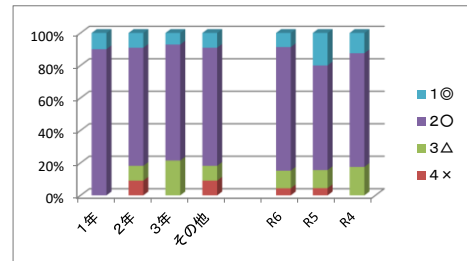
no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	11%	17%	15%	13%	15%	14%	15%	17%
2○	だいたい当てはまる	1	76%	74%	72%	76%	73%	74%	75%	62%
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	9%	13%	10%	11%	11%	10%	19%
4×	当てはまらない	-2	2%	0%	0%	1%	1%	1%	1%	2%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	544
評価度 (-2~2)			→ 0.84	0.98	0.88	0.88	0.92	0.90	0.93	0.72
			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



【職員用】

7 学校として、生徒会活動は活発に行われている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	10%	9%	7%	9%		9%	20%	13%
2○	だいたい当てはまる	1	90%	73%	71%	73%		74%	64%	70%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	9%	21%	9%		11%	11%	18%
4×	当てはまらない	-2	0%	9%	0%	9%		4%	4%	0%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ 1.10	0.64	0.64	0.64		0.72	0.84	0.78
			100%	100%	100%	100%	0%	98%	100%	100%



生徒用	今年度全体特徴	全体的に肯定的に理解されている。
	年度間比較	9割を超える生徒が生徒会活動が活発に行われていると感じており、評価度はこの3年間で一番高い。
	男女間比較	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した生徒の男女間の差はあまりない。
	学年間比較	どの学年も評価は高いが、「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答している生徒の割合は2学年でやや高くなっている。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と同様、全体的に肯定的に受け止められている。
	年度間比較	昨年度とあまり変わらない。
	男女間比較	男女間の評価度に差はない。
	学年間比較	2学年・3学年で「当てはまらない」と回答した保護者が0だった。
職員	今年度全体特徴	8割強の職員が生徒会活動が活発に行われていると評価している。
	年度間比較	「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答した割合は昨年と同率である。
	学年間比較	1学年の評価度が最も高い。
全体	1年生の評価が高い。	

8 有意義な学校行事

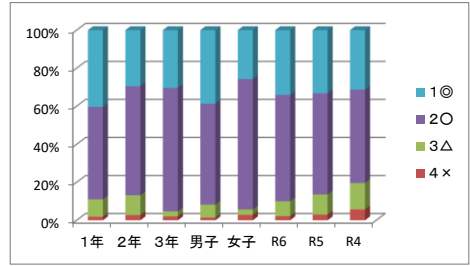
生徒・学年

【生徒用】

8 自分にとって、有意義な学校行事がある。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	40%	30%	30%	39%	26%	34%	33%	31%
2○	だいたい当てはまる	1	49%	57%	65%	53%	69%	56%	53%	49%
3△	あまり当てはまらない	-1	9%	10%	3%	7%	3%	8%	11%	14%
4×	当てはまらない	-2	2%	3%	2%	1%	3%	2%	3%	6%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	648
評価度 (-2~2)			→ 1.17	1.00	1.19	1.21	1.11	1.12	1.03	0.86

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

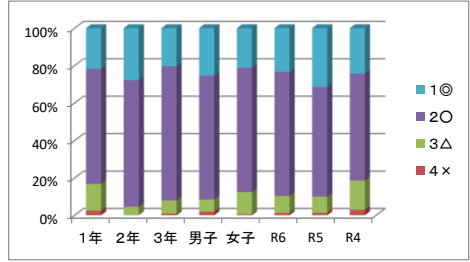


【保護者用】

8 お子さんにとって、有意義な学校行事がある。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	22%	28%	20%	25%	21%	23%	31%	24%
2○	だいたい当てはまる	1	61%	68%	72%	66%	66%	66%	59%	57%
3△	あまり当てはまらない	-1	14%	5%	7%	7%	12%	9%	9%	16%
4×	当てはまらない	-2	2%	0%	1%	2%	1%	1%	1%	3%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	544
評価度 (-2~2)			→ 0.86	1.19	1.04	1.07	0.96	1.01	1.10	0.84

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

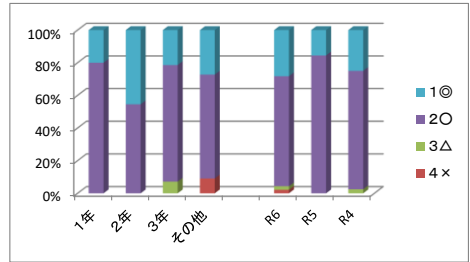


【職員用】

8 生徒にとって、有意義な学校行事がある。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	20%	45%	21%	27%		28%	16%	25%
2○	だいたい当てはまる	1	80%	55%	71%	64%		66%	84%	73%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	0%	7%	0%		2%	0%	3%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	9%		2%	0%	0%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ 1.20	1.45	1.07	1.00		1.15	1.16	1.20

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	90%の生徒が、「有意義な学校行事がある」と回答している。
	年度間比較	令和5年度と比較して、評価度が0.09ポイント増加した。
	男女間比較	男子の方が評価度が高い傾向にある。
	学年間比較	3学年→1学年→2学年の順で評価度が高い。
保護者用	今年度全体特徴	89%の保護者が、評価する回答をしている。
	年度間比較	昨年度よりも評価度が0.09ポイント低下している。
	男女間比較	女子の方が評価度は高い。
	学年間比較	評価度は2学年が最も高い。
職員	今年度全体特徴	多くの職員が「有意義な学校行事がある」と評価している。
	年度間比較	令和5年度よりわずかに下がったが、例年通りの高い評価である。
	学年間比較	評価度は2学年が高い。
全体	例年どおり、生徒・保護者・職員ともに評価が高かった。	

9 特色ある学校づくり

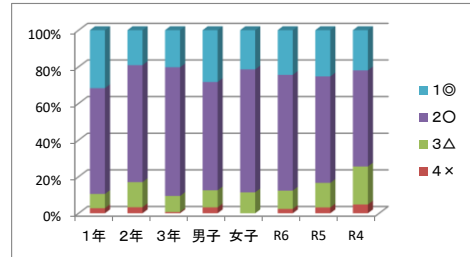
教務(他全体)

【生徒用】

9 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

no	選択肢	評価値	R6 (%)						R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	32%	19%	20%	28%	21%	24%	25%	22%	
2○	だいたい当てはまる	1	58%	64%	70%	59%	67%	63%	58%	52%	
3△	あまり当てはまらない	-1	8%	14%	9%	9%	11%	10%	13%	21%	
4×	当てはまらない	-2	3%	3%	1%	3%	0%	2%	3%	5%	
人数計			218	183	148	279	270	549	633	646	
評価度 (-2~2)			→	1.08	0.82	1.01	1.00	0.99	0.97	0.89	0.66

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

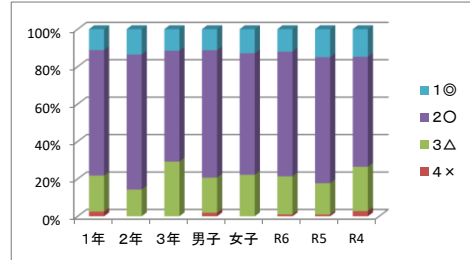


【保護者用】

9 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

no	選択肢	評価値	R6 (%)						R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	11%	14%	12%	11%	13%	12%	15%	15%	
2○	だいたい当てはまる	1	67%	72%	59%	68%	65%	66%	67%	59%	
3△	あまり当てはまらない	-1	19%	14%	29%	19%	22%	20%	17%	24%	
4×	当てはまらない	-2	2%	0%	0%	2%	0%	1%	1%	3%	
人数計			161	133	113	213	194	407	555	544	
評価度 (-2~2)			→	0.65	0.85	0.53	0.68	0.69	0.68	0.79	0.59

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

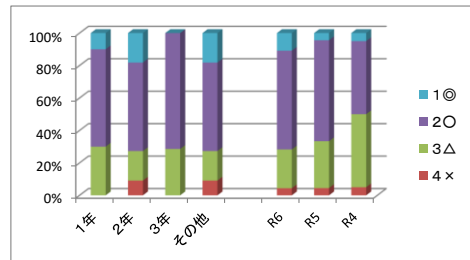


【職員用】

9 学校として、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	10%	18%	0%	18%	11%	4%	5%	
2○	だいたい当てはまる	1	60%	55%	71%	55%	60%	62%	45%	
3△	あまり当てはまらない	-1	30%	18%	29%	18%	23%	29%	45%	
4×	当てはまらない	-2	0%	9%	0%	9%	4%	4%	5%	
人数計			10	11	14	11	46	45	40	
評価度 (-2~2)			→	0.50	0.55	0.43	0.55	0.49	0.33	0.00

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	87%の生徒が「特色ある学校づくりに取り組んでいる」と回答している。
	年度間比較	この数年で評価は大幅に上昇しており、今年度は昨年度からさらに0.08ポイント上昇した。
	男女間比較	男女間に目立った差はない。
	学年間比較	1学年の評価度が最も高い。
保護者用	今年度全体特徴	78%の保護者が「特色ある学校づくりに取り組んでいる」と回答している。
	年度間比較	「あまり当てはまらない」の評価が上昇した。
	男女間比較	男子・女子いずれの保護者も同等の評価度である。
	学年間比較	2学年保護者の評価度が最も高い。「当てはまらない」と回答しているのは1年生のみである。
職員	今年度全体特徴	71%の職員が「特色ある学校づくりに取り組んでいる」と回答している。
	年度間比較	昨年度と比較して「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した職員の割合が5ポイント上昇した。
	学年間比較	3学年の評価度が低い。
全体	保護者の評価が下がっている。学校として地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいると生徒・保護者・職員が認識でき、モチベーションをあげる取組みを実践する必要がある。	

10 災害・非常時の避難方法や連絡方法

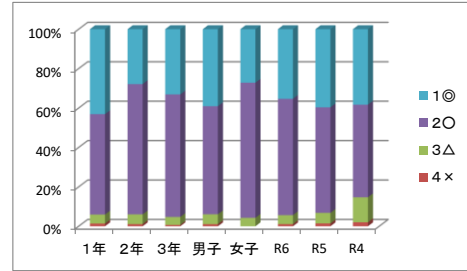
防災対策委員会

【生徒用】

10 生徒に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	43%	28%	33%	39%	27%	35%	40%	38%
2○	だいたい当てはまる	1	51%	66%	62%	55%	69%	59%	54%	47%
3△	あまり当てはまらない	-1	5%	5%	4%	5%	4%	5%	5%	13%
4×	当てはまらない	-2	1%	1%	1%	1%	0%	1%	1%	2%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	647
評価度 (-2~2)			→ 1.30	1.15	1.23	1.26	1.19	1.23	1.25	1.07

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

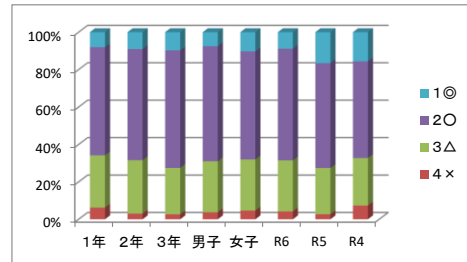


【保護者用】

10 保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	8%	9%	10%	8%	10%	9%	17%	16%
2○	だいたい当てはまる	1	58%	59%	63%	62%	58%	60%	56%	52%
3△	あまり当てはまらない	-1	28%	29%	25%	27%	27%	27%	25%	25%
4×	当てはまらない	-2	6%	3%	3%	4%	5%	4%	3%	7%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	544
評価度 (-2~2)			→ 0.34	0.43	0.52	0.42	0.42	0.42	0.59	0.43

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

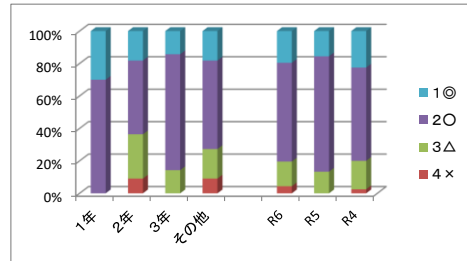


【職員用】

10 生徒・保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	30%	18%	14%	18%		19%	16%	23%
2○	だいたい当てはまる	1	70%	45%	71%	55%		60%	71%	58%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	27%	14%	18%		15%	13%	18%
4×	当てはまらない	-2	0%	9%	0%	9%		4%	0%	3%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ 1.30	0.36	0.86	0.55		0.74	0.89	0.80

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	90%以上の生徒が「避難方法や連絡方法は伝えられている」と回答している。
	年度間比較	「よく当てはまる」が昨年度よりも下がった。
	男女間比較	男女間に目立った差はない。
	学年間比較	どの学年も評価度は高い。
保護者用	今年度全体特徴	69%の保護者が「避難方法や連絡方法は伝えられている」と回答している。
	年度間比較	「よく当てはまる」が下がっている。
	男女間比較	男女間に目立った差はない。
	学年間比較	1学年の評価度が他学年と比較して低くなっている。
職員	今年度全体特徴	79%の職員が、「生徒・保護者に対して、避難方法や連絡方法は伝えられている」と回答している。
	年度間比較	「当てはまらない」のポイントが増えた。
	学年間比較	1学年の評価度が最も高かった。
全体	生徒・保護者・職員全てで評価度は下降している。災害時や非常時の避難方法や連絡方法についての周知徹底を進めていく必要がある。	

11 学校情報の保護者への伝達

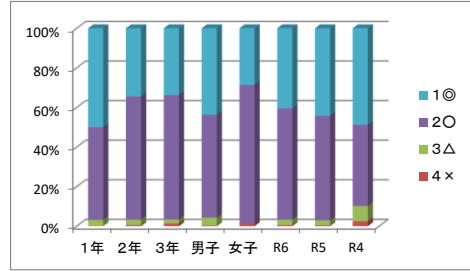
学年

【生徒用】

11 保護者に対して、一斉メールや学年通信などによって、学校の情報は適切に伝えられている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	50%	34%	34%	44%	29%	40%	44%	49%
2○	だいたい当てはまる	1	47%	62%	63%	52%	70%	56%	53%	41%
3△	あまり当てはまらない	-1	3%	3%	2%	4%	0%	3%	3%	8%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	1%	0%	1%	1%	0%	2%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	646
評価度 (-2~2)			→ 1.44	1.27	1.26	1.35	1.24	1.33	1.38	1.26

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

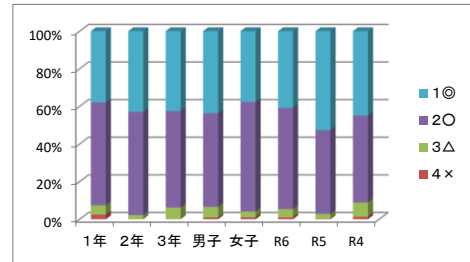


【保護者用】

11 保護者に対して、一斉メールや学年通信などによって、学校の情報は適切に伝えられている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	38%	43%	42%	44%	38%	41%	53%	45%
2○	だいたい当てはまる	1	55%	55%	51%	50%	58%	54%	45%	46%
3△	あまり当てはまらない	-1	5%	2%	6%	6%	3%	4%	3%	8%
4×	当てはまらない	-2	2%	0%	0%	1%	1%	1%	0%	1%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	539
評価度 (-2~2)			→ 1.20	1.38	1.30	1.30	1.28	1.29	1.47	1.26

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

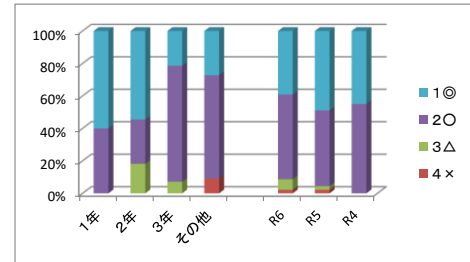


【職員用】

11 保護者に対して、一斉メールや学年通信などによって、学校の情報は適切に伝えられている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	60%	55%	21%	27%		38%	49%	45%
2○	だいたい当てはまる	1	40%	27%	71%	64%		51%	47%	55%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	18%	7%	0%		6%	2%	0%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	9%		2%	2%	0%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ 1.60	1.18	1.07	1.00		1.17	1.38	1.45

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	生徒の96%が適切に伝えられていると回答している。
	年度間比較	「当てはまらない」の割合が増えた。
	男女間比較	男子の評価が高い。
	学年間比較	1学年の評価度が高い。
保護者用	今年度全体特徴	保護者の95%が適切に伝えられていると回答している。
	年度間比較	「当てはまらない」が増えた。
	男女間比較	大きな差はみられない。
	学年間比較	1学年に「当てはまらない」が2%いる。
職員	今年度全体特徴	89%の職員が適切に伝えられていると回答している。
	年度間比較	「あまり当てはまらない」の評価が4%増えた。
	学年間比較	2学年に「あまり当てはまらない」が18%いる。
全体	一斉メールと学校がよりに加えて、ここ数年はグーグルクラスルームを使った情報配信も行っている。受信確認が適切に行われていないと考える教職員が増えている。	

12 校舎やグラウンドなどの施設・設備の整備

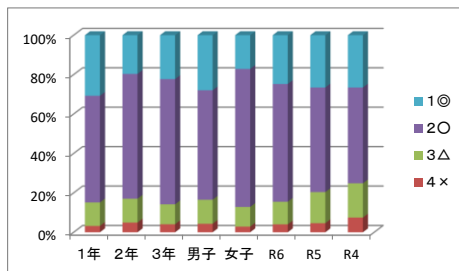
事務

【生徒用】

12 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	31%	20%	22%	28%	17%	25%	27%	27%	
2○	だいたい当てはまる	1	54%	63%	64%	56%	70%	60%	53%	49%	
3△	あまり当てはまらない	-1	12%	12%	10%	12%	10%	11%	16%	17%	
4×	当てはまらない	-2	3%	5%	4%	4%	3%	4%	5%	7%	
人数計			218	183	148	279	270	549	633	644	
評価度 (-2~2)			→	0.97	0.81	0.90	0.91	0.89	0.90	0.81	0.69

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

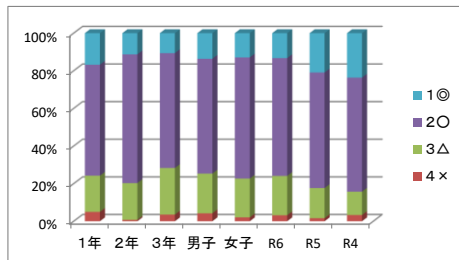


【保護者用】

12 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	17%	11%	11%	14%	13%	13%	21%	24%	
2○	だいたい当てはまる	1	59%	68%	61%	61%	64%	63%	61%	61%	
3△	あまり当てはまらない	-1	19%	20%	25%	21%	21%	21%	16%	12%	
4×	当てはまらない	-2	5%	1%	4%	4%	2%	3%	2%	3%	
人数計			161	133	113	213	194	407	555	541	
評価度 (-2~2)			→	0.63	0.70	0.50	0.59	0.65	0.62	0.84	0.89

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

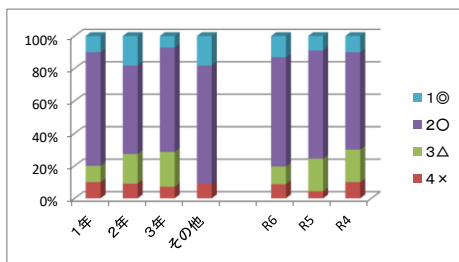


【職員用】

12 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	10%	18%	7%	18%		13%	9%	10%	
2○	だいたい当てはまる	1	70%	55%	64%	73%		66%	67%	60%	
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	18%	21%	0%		11%	20%	20%	
4×	当てはまらない	-2	10%	9%	7%	9%		9%	4%	10%	
人数計			10	11	14	11		46	45	40	
評価度 (-2~2)			→	0.60	0.55	0.43	0.91		0.64	0.56	0.40

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	生徒の85%が整備されていると回答している。
	年度間比較	昨年度よりも評価度が0.09上昇した。
	男女間比較	男女間で大きな差はない。
	学年間比較	学年間で大きな差はない。
保護者用	今年度全体特徴	保護者の76%が整備されていると回答している。
	年度間比較	昨年度より評価度が大幅に下がった。
	男女間比較	女子の保護者の評価の方が男子の保護者よりも高い。昨年度と逆転した。
	学年間比較	3学年の評価が他の学年に比べて低い。
職員	今年度全体特徴	職員の79%が整備されていると回答している。
	年度間比較	昨年度と比較して評価が少し高い。
	学年間比較	2年と3年はほぼ同等。1学年の評価が少し高くなっている。
全体	生徒、職員の評価は昨年度より高くなったが、保護者の評価は年々低くなっており、今年度は特に低い評価度となった。評価項目が「よく当てはまる～当てはまらない」の4項目のため、具体的な整備要望は不明だが、さらなる整備の充実にに向けて対応していきたい。	

13 いじめ問題への取組

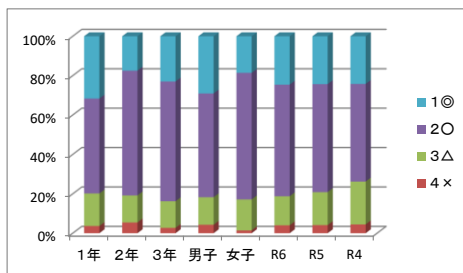
生徒

【生徒用】

13 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	32%	17%	23%	29%	19%	25%	24%	24%
2○	だいたい当てはまる	1	48%	63%	61%	53%	64%	57%	55%	50%
3△	あまり当てはまらない	-1	17%	14%	14%	14%	16%	15%	17%	22%
4×	当てはまらない	-2	4%	5%	3%	4%	1%	4%	4%	4%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	648
評価度 (-2~2)			→ 0.88	0.74	0.88	0.88	0.83	0.83	0.79	0.67

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

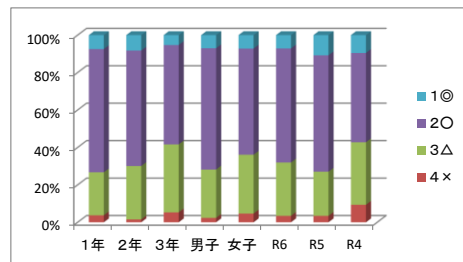


【保護者用】

13 学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	7%	8%	5%	7%	7%	7%	11%	10%
2○	だいたい当てはまる	1	66%	62%	53%	65%	57%	61%	62%	48%
3△	あまり当てはまらない	-1	23%	29%	36%	26%	31%	28%	24%	33%
4×	当てはまらない	-2	4%	2%	5%	2%	5%	3%	3%	9%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	545
評価度 (-2~2)			→ 0.50	0.47	0.17	0.48	0.30	0.40	0.53	0.15

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

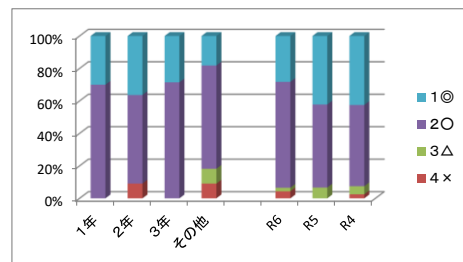


【職員用】

13 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	30%	36%	29%	18%		28%	42%	43%
2○	だいたい当てはまる	1	70%	55%	71%	64%		64%	51%	50%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	0%	0%	9%		2%	7%	5%
4×	当てはまらない	-2	0%	9%	0%	9%		4%	0%	3%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ 1.30	1.09	1.29	0.73		1.09	1.29	1.25

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と感じている生徒は82%である。
	年度間比較	昨年度より、0.04ポイント評価度が高くなっている。上昇傾向が続いている。
	男女間比較	女子の評価度の方が男子に比べて高い。
	学年間比較	1学年・3学年の評価度は同率であるが、2学年の評価度が低くなっている。
保護者用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した保護者の割合が68%であり、昨年より低くなっている。
	年度間比較	昨年度より、評価度が0.13ポイント低くなっている。
	男女間比較	女子の保護者の方が評価度が高い。これは昨年とは逆である。
	学年間比較	他学年に比べ、3学年の保護者の評価度が低くなっている。
職員	今年度全体特徴	9割の職員がいじめの早期発見に取り組んでいると回答している。
	年度間比較	昨年より評価度が0.2ポイント低くなっている。
	学年間比較	1学年・3学年で「あまり当てはまらない」と回答している職員が0であった。
全体		職員は全体的にいじめ対策に取り組んでいる意識があるが、2学年では「当てはまらない」と回答している職員の割合がやや高くなっている。一方、生徒については、この3年間で評価度については上昇傾向にあるものの、保護者・職員の評価度は昨年と比べ低くなっている。今後もさらに学校側の指導方針や指導の様子が伝わり、家庭での協力が得られるよう信頼関係を築いていく必要がある。

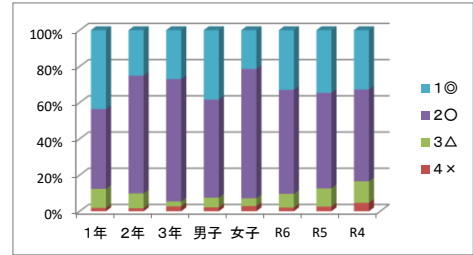
14 学校生活の充実度

全体

【生徒用】

14 自分にとって、学校生活は充実している。

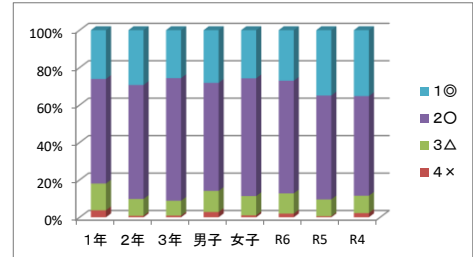
no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	44%	25%	27%	38%	21%	33%	35%	33%
2○	だいたい当てはまる	1	44%	65%	68%	54%	71%	57%	53%	51%
3△	あまり当てはまらない	-1	11%	8%	3%	5%	4%	8%	10%	12%
4×	当てはまらない	-2	2%	2%	3%	2%	3%	2%	3%	5%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	641
評価度 (-2~2)		→	1.17	1.04	1.14	1.21	1.04	1.11	1.07	0.95
			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



【保護者用】

14 お子さんにとって、学校生活は充実している。

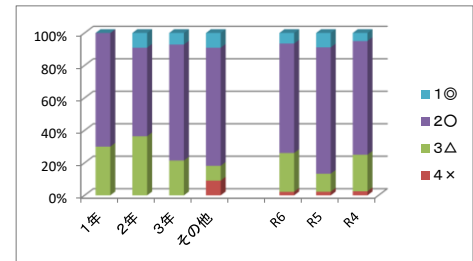
no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	26%	29%	26%	28%	26%	27%	35%	35%
2○	だいたい当てはまる	1	56%	61%	65%	58%	63%	60%	55%	53%
3△	あまり当てはまらない	-1	14%	9%	8%	11%	10%	11%	9%	9%
4×	当てはまらない	-2	4%	1%	1%	3%	1%	2%	1%	2%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	539
評価度 (-2~2)		→	0.86	1.09	1.07	0.97	1.02	0.99	1.15	1.10
			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



【職員用】

14 生徒の学校生活は充実している。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	9%	7%	9%		6%	9%	5%
2○	だいたい当てはまる	1	70%	55%	71%	73%		66%	78%	70%
3△	あまり当てはまらない	-1	30%	36%	21%	9%		23%	11%	23%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	9%		2%	2%	3%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)		→	0.40	0.36	0.64	0.64		0.51	0.80	0.53
			100%	100%	100%	100%	0%	98%	100%	100%



生徒用	今年度全体特徴	90%が充実していると回答している。
	年度間比較	この3年間で上昇している。
	男女間比較	男女間に大きな差はない。
	学年間比較	1学年の評価度が比較的低い。
保護者用	今年度全体特徴	87%の保護者が充実していると回答している。
	年度間比較	否定的評価が増えている。
	男女間比較	大きな差はみられない。
	学年間比較	1年生の評価が若干低い。
職員	今年度全体特徴	72%の職員が充実していると回答している。
	年度間比較	昨年度より評価が大幅に下降した。
	学年間比較	3学年の評価が高い。
全体	ほとんどの生徒や保護者が、学校生活が充実していると回答している。しかし、「充実していない」と回答する職員の割合が昨年に比べて増えた。引き続き、学校生活の充実について意見を交わし、実践を進めていく必要がある。	

15 学業と部活動の両立

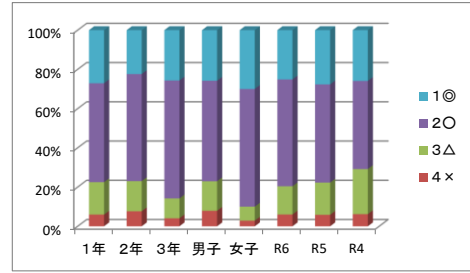
教務

【生徒用】

15 自分は学業と部活動の両立ができています。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	27%	22%	26%	26%	30%	25%	28%	26%	
2○	だいたい当てはまる	1	50%	55%	60%	51%	60%	54%	50%	45%	
3△	あまり当てはまらない	-1	17%	15%	10%	15%	7%	14%	16%	23%	
4×	当てはまらない	-2	6%	8%	4%	8%	3%	6%	6%	6%	
人数計			218	183	148	279	270	549	633	648	
評価度 (-2~2)			→	0.76	0.69	0.93	0.72	1.07	0.78	0.77	0.61

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

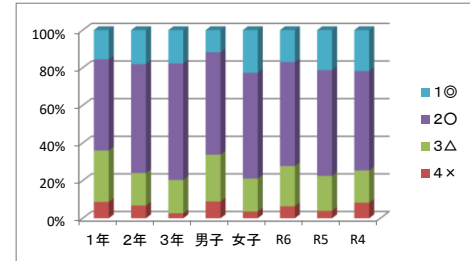


【保護者用】

15 お子さんは、学業と部活動の両立ができています。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	16%	18%	18%	12%	23%	17%	21%	22%	
2○	だいたい当てはまる	1	48%	58%	62%	54%	56%	55%	56%	53%	
3△	あまり当てはまらない	-1	27%	17%	18%	25%	18%	21%	19%	17%	
4×	当てはまらない	-2	9%	7%	3%	9%	4%	6%	4%	8%	
人数計			161	133	113	213	194	407	555	543	
評価度 (-2~2)			→	0.35	0.63	0.74	0.35	0.77	0.55	0.72	0.63

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

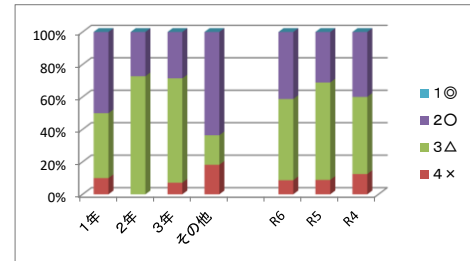


【職員用】

15 生徒は、学業と部活動の両立ができています。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
2○	だいたい当てはまる	1	50%	27%	29%	64%		40%	31%	40%	
3△	あまり当てはまらない	-1	40%	73%	64%	18%		49%	60%	48%	
4×	当てはまらない	-2	10%	0%	7%	18%		9%	9%	13%	
人数計			10	11	14	11		46	45	40	
評価度 (-2~2)			→	-0.10	-0.45	-0.50	0.09		-0.26	-0.47	-0.33

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	79%が学業と部活動の両立に取り組んだと肯定的に捉えている。
	年度間比較	この3年間については、上昇傾向が続いている。
	男女間比較	女子の方が男子と比較して、評価度が高い結果となっている。
	学年間比較	3年生の肯定的評価が高い。
保護者用	今年度全体特徴	「あまり当てはまらない」が21%である。
	年度間比較	3年間で一番低い。
	男女間比較	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と肯定的に捉えている保護者の割合は男子で66%、女子で79%である。
	学年間比較	2学年が0.63と最も高い。
職員	今年度全体特徴	どの学年も全体的に低い評価となっている。
	年度間比較	否定的評価が58%である。
	学年間比較	3年生の評価が最も低い。
全体	職員はマイナスポイントとなる学年もあった。生徒の学業と部活動の取り組みに関する職員の現状認識が理想と乖離していることが窺われる。	

16 家庭学習の習慣

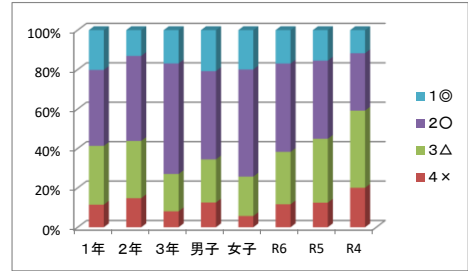
教務

【生徒用】

16 自分は家庭学習の習慣が身に付いている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	20%	13%	17%	21%	20%	17%	15%	12%	
2○	だいたい当てはまる	1	39%	43%	56%	45%	54%	45%	40%	29%	
3△	あまり当てはまらない	-1	30%	29%	19%	22%	20%	27%	32%	39%	
4×	当てはまらない	-2	11%	15%	8%	13%	6%	12%	12%	20%	
人数計			218	183	148	279	270	549	633	649	
評価度 (-2~2)			→	0.26	0.11	0.55	0.39	0.63	0.29	0.13	-0.27

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

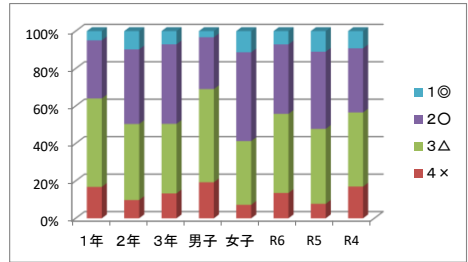


【保護者用】

16 お子さんは、家庭学習の習慣が身に付いている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	5%	10%	7%	3%	11%	7%	11%	9%	
2○	だいたい当てはまる	1	31%	40%	42%	28%	47%	37%	41%	34%	
3△	あまり当てはまらない	-1	47%	41%	37%	50%	34%	42%	40%	40%	
4×	当てはまらない	-2	17%	10%	13%	19%	7%	13%	8%	17%	
人数計			161	133	113	213	194	407	555	543	
評価度 (-2~2)			→	-0.40	-0.01	-0.07	-0.54	0.22	-0.18	0.08	-0.21

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

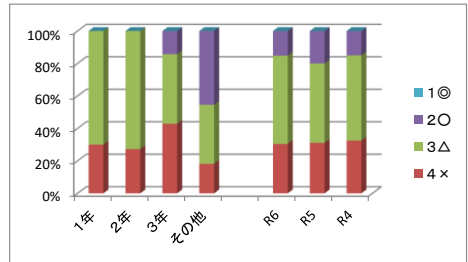


【職員用】

16 生徒は、家庭学習の習慣を身につけている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%	
2○	だいたい当てはまる	1	0%	0%	14%	45%		15%	20%	15%	
3△	あまり当てはまらない	-1	70%	73%	43%	36%		53%	49%	53%	
4×	当てはまらない	-2	30%	27%	43%	18%		30%	31%	33%	
人数計			10	11	14	11		46	45	40	
評価度 (-2~2)			→	-1.30	-1.27	-1.14	-0.27		-0.98	-0.91	-1.03

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	全体的に評価は上昇している。
	年度間比較	例年よりも全体的に値が上昇している。
	男女間比較	女子の評価度が男子に比べて高い。
	学年間比較	2年生の「当てはまらない」が15%で他学年よりも多い。
保護者用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」の割合が減少した。
	年度間比較	「当てはまらない」が5%上昇した。
	男女間比較	男子でマイナス評価となっている。
	学年間比較	1年生の「当てはまらない」が17%である。
職員	今年度全体特徴	否定的な評価をしている教員が83%である。
	年度間比較	「だいたい当てはまる」の割合が5%減少した。
	学年間比較	1・2年生は否定的評価が100%である。
全体	評価の結果からは、家庭での学習習慣の定着について教職員と生徒の間の認識が大きく異なっている様子が窺われる。生徒はプラス評価となっているが、保護者は2年生女子のみがプラス評価である。	

17 PTテスト

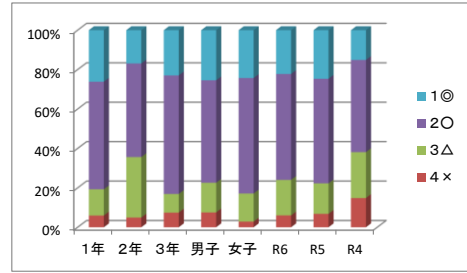
教務

【生徒用】

17 PT(基礎学力定着)テストは、自分の基礎学力の定着に役立っている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	26%	17%	23%	25%	24%	22%	25%	15%	
2○	だいたい当てはまる	1	55%	48%	60%	52%	59%	54%	53%	47%	
3△	あまり当てはまらない	-1	13%	31%	9%	15%	14%	18%	15%	23%	
4×	当てはまらない	-2	6%	5%	7%	8%	3%	6%	7%	15%	
人数計			218	183	148	279	270	549	633	648	
評価度 (-2~2)			→	0.82	0.41	0.82	0.73	0.87	0.68	0.73	0.24

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

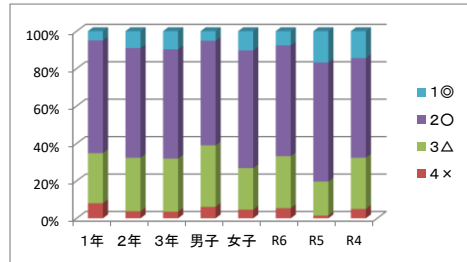


【保護者用】

17 PT(基礎学力定着)テストは、おさんの基礎学力の定着に役立っている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	5%	9%	10%	5%	10%	8%	17%	14%	
2○	だいたい当てはまる	1	60%	59%	58%	56%	63%	59%	64%	53%	
3△	あまり当てはまらない	-1	27%	29%	28%	33%	22%	28%	18%	27%	
4×	当てはまらない	-2	8%	4%	4%	6%	5%	5%	1%	5%	
人数計			161	133	113	213	194	407	555	541	
評価度 (-2~2)			→	0.27	0.41	0.42	0.21	0.52	0.36	0.76	0.45

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

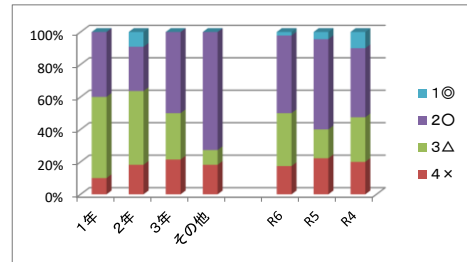


【職員用】

17 PT(基礎学力定着)テストは、生徒の基礎学力の定着に役立っている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	0%	9%	0%	0%		2%	4%	10%	
2○	だいたい当てはまる	1	40%	27%	50%	73%		47%	56%	43%	
3△	あまり当てはまらない	-1	50%	45%	29%	9%		32%	18%	28%	
4×	当てはまらない	-2	10%	18%	21%	18%		17%	22%	20%	
人数計			10	11	14	11		46	45	40	
評価度 (-2~2)			→	-0.30	-0.36	-0.21	0.27		-0.15	0.02	-0.05

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	「当てはまる」と「だいたい当てはまる」と肯定的に回答した生徒の割合は76%である。
	年度間比較	「当てはまらない」と回答している生徒の割合が減少傾向にあり、基礎学力の定着に役立っている様子が見られる。
	男女間比較	男子の方が「よく当てはまる」と回答した生徒の割合が女子よりも高いが、全体的には女子の評価度の方が高い。
	学年間比較	2年生の評価が低い。
保護者用	今年度全体特徴	否定的評価が33%である。
	年度間比較	「当てはまらない」の回答が増加した。
	男女間比較	生徒の評価と同様、女子の評価度が高くなっている。
	学年間比較	学年間の差はあまりない。
職員	今年度全体特徴	評価度はマイナスであった。
	年度間比較	今年度は肯定的評価が49%であった。
	学年間比較	2年生のみが「よく当てはまる」の回答があるが、否定的評価が63%となっている。
全体	PTテストを実施している2学年の職員の評価が低いことから、学年が上がるにつれて教職員にとってPTテストの必要度が感じられなくなっている可能性もある。内容を精査したり、職員間で目的を共有したりすることが必要である。ただし、生徒については職員とは逆に評価度が高くなっている。	

18 服装

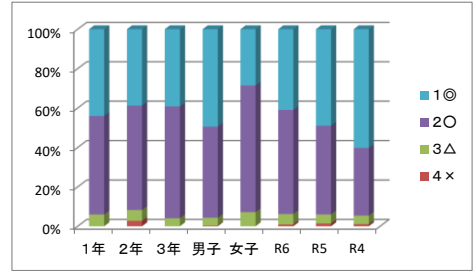
生徒

【生徒用】

18 自分は、正しい服装で学校生活を送っている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	44%	39%	39%	49%	29%	41%	49%	60%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	53%	57%	46%	64%	53%	45%	34%
3△	あまり当てはまらない	-1	6%	5%	4%	4%	7%	5%	5%	4%
4×	当てはまらない	-2	0%	3%	0%	0%	0%	1%	1%	1%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	649
評価度 (-2~2)			→ 1.32	1.20	1.31	1.41	1.14	1.27	1.36	1.48

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

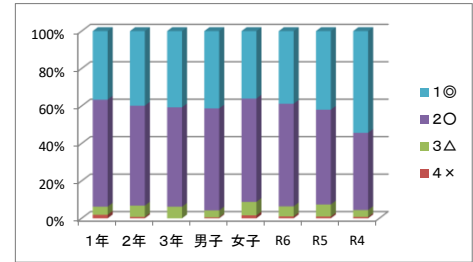


【保護者用】

18 お子さんは、正しい服装で学校生活を送っている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	37%	40%	41%	41%	36%	39%	42%	54%
2○	だいたい当てはまる	1	57%	53%	53%	54%	55%	55%	51%	41%
3△	あまり当てはまらない	-1	4%	6%	6%	4%	7%	5%	6%	4%
4×	当てはまらない	-2	2%	1%	0%	0%	2%	1%	1%	1%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	543
評価度 (-2~2)			→ 1.22	1.26	1.28	1.32	1.17	1.25	1.26	1.45

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

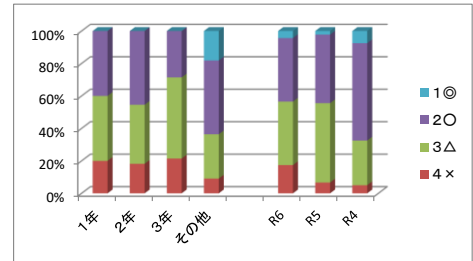


【職員用】

18 生徒は、正しい服装で学校生活を送っている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	18%		4%	2%	8%
2○	だいたい当てはまる	1	40%	45%	29%	45%		38%	42%	60%
3△	あまり当てはまらない	-1	40%	36%	50%	27%		38%	49%	28%
4×	当てはまらない	-2	20%	18%	21%	9%		17%	7%	5%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ -0.40	-0.27	-0.64	0.36		-0.26	-0.16	0.38

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	9割以上の生徒が、自分は正しい服装で学校生活を送っていると回答している。
	年度間比較	昨年から0.09ポイント評価度は下がっている。
	男女間比較	男子と比較すると女子の方がやや評価度が低い。
	学年間比較	2学年で3%の生徒が「当てはまらない」と回答している。
保護者用	今年度全体特徴	生徒と比較して評価度はやや低くなっている。
	年度間比較	昨年から0.01ポイント評価度が下がった。
	男女間比較	生徒と同様に男子よりも女子の評価度が低い。
	学年間比較	3年生の評価が低い。
職員	今年度全体特徴	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した職員は42%で、この3年間で最も低い割合。
	年度間比較	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の割合は昨年度から0.1ポイントに下がっている。
	学年間比較	特に3学年では71%の職員が「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答している。
全体	生徒・保護者の評価度がこの3年間で微減している一方、職員の評価度は今年度急落した。職員の「当てはまらない」という回答が最も多かったのが、昨年は1学年だったが、今年度は3学年であった。3学年で「あまり当てはまらない」「当てはまらない」が70%を超えたのは、昨年同様の傾向である。	

19 頭髪

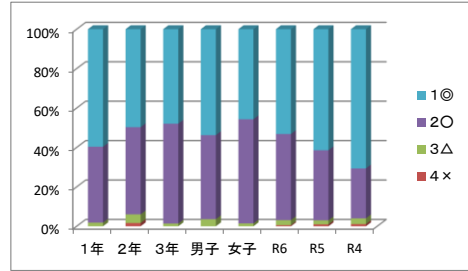
生徒

【生徒用】

19 自分は、きちんとした頭髪で学校生活を送っている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	60%	50%	48%	54%	46%	53%	61%	71%
2○	だいたい当てはまる	1	39%	44%	51%	43%	53%	44%	36%	25%
3△	あまり当てはまらない	-1	2%	4%	1%	4%	1%	3%	2%	3%
4×	当てはまらない	-2	0%	2%	0%	0%	0%	1%	1%	1%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	648
評価度 (-2~2)			→ 1.56	1.36	1.45	1.47	1.43	1.46	1.55	1.62

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

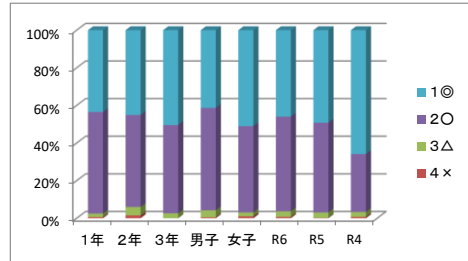


【保護者用】

19 お子さんは、きちんとした頭髪で学校生活を送っている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	43%	45%	50%	41%	51%	46%	49%	66%
2○	だいたい当てはまる	1	54%	49%	47%	54%	46%	50%	48%	31%
3△	あまり当てはまらない	-1	2%	5%	3%	4%	2%	3%	3%	3%
4×	当てはまらない	-2	1%	2%	0%	0%	1%	1%	0%	1%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	539
評価度 (-2~2)			→ 1.38	1.32	1.45	1.32	1.44	1.38	1.43	1.58

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

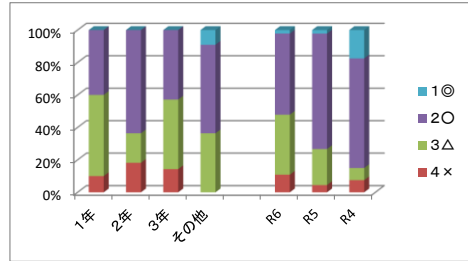


【職員用】

19 生徒は、きちんとした頭髪で学校生活を送っている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	9%		2%	2%	18%
2○	だいたい当てはまる	1	40%	64%	43%	55%		49%	71%	68%
3△	あまり当てはまらない	-1	50%	18%	43%	36%		36%	22%	8%
4×	当てはまらない	-2	10%	18%	14%	0%		11%	4%	8%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ -0.30	0.09	-0.29	0.36		-0.04	0.44	0.80

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	ほとんどの生徒がきちんとした頭髪で学校生活を送っていると自己評価している。
	年度間比較	評価度は昨年度と比較して0.09ポイント低下した。
	男女間比較	男子の方が評価度が高い。
	学年間比較	2学年で「当てはまらない」と回答している生徒が2%いる。
保護者用	今年度全体特徴	生徒よりも若干低い評価ではあるが、多くの保護者がきちんとした頭髪で学校生活を送っていると回答している。
	年度間比較	評価度が昨年度から0.05ポイント低下した。
	男女間比較	「あまり当てはまらない」と答えた男子の保護者が4%いる。
	学年間比較	1学年の評価度が一番高い。
職員	今年度全体特徴	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と答えた職員が51%となり、昨年度から急落した。
	年度間比較	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と答えた職員は昨年度は73%だったが、今年度は51%と急落した。
	学年間比較	1学年では50%の職員が「あまり当てはまらない」と回答している。
全体	例年通り、生徒・保護者は比較的高く評価しているが、それも年度を経るに従って微減している。また、職員は今年度評価度が急激に下がっている。頭髪のルールについて生徒と保護者に一層の周知を図るとともに、教員間で共通認識をもって指導にあたる必要がある。	

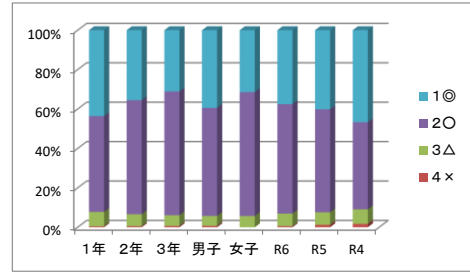
20 挨拶について

生徒

【生徒用】

20 自分は、しっかりした挨拶ができています。

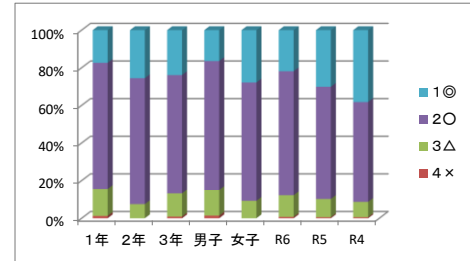
no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	44%	36%	31%	39%	31%	37%	40%	47%
2○	だいたい当てはまる	1	49%	58%	63%	55%	63%	55%	52%	44%
3△	あまり当てはまらない	-1	7%	6%	5%	5%	6%	6%	6%	7%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	1%	1%	0%	1%	1%	2%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	649
評価度 (-2~2)			→ 1.28	1.22	1.18	1.27	1.20	1.23	1.24	1.27
			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



【保護者用】

20 お子さんは、しっかりした挨拶ができています。

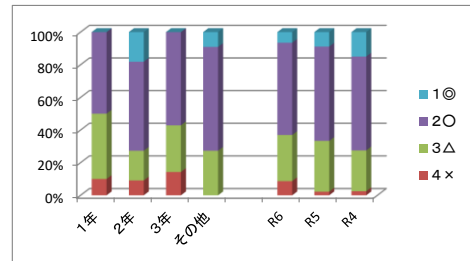
no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	17%	26%	24%	16%	28%	22%	30%	38%
2○	だいたい当てはまる	1	67%	67%	63%	69%	63%	66%	60%	53%
3△	あまり当てはまらない	-1	14%	8%	12%	14%	9%	12%	10%	8%
4×	当てはまらない	-2	1%	0%	1%	1%	0%	1%	1%	1%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	539
評価度 (-2~2)			→ 0.85	1.11	0.96	0.85	1.09	0.96	1.09	1.20
			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



【職員用】

20 生徒は、しっかりした挨拶ができています。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	18%	0%	9%		6%	9%	15%
2○	だいたい当てはまる	1	50%	55%	57%	64%		55%	58%	58%
3△	あまり当てはまらない	-1	40%	18%	29%	27%		28%	31%	25%
4×	当てはまらない	-2	10%	9%	14%	0%		9%	2%	3%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ -0.10	0.55	0.00	0.55		0.23	0.40	0.58
			100%	100%	100%	100%	0%	98%	100%	100%



生徒用	今年度全体特徴	全体的に、ほとんどの生徒が挨拶ができていますと回答している。
	年度間比較	「よく当てはまる」と回答する生徒の割合は年度を経て徐々に減少している。
	男女間比較	男女ともに9割の生徒がしっかりした挨拶ができていますと自負している。
	学年間比較	どの学年も挨拶に関しては良好な取組ができていますと感じているようだが、3学年では挨拶ができていないと感じている生徒の割合がやや多い。
保護者用	今年度全体特徴	「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答している保護者が13%おり、例年に比べて評価度は低くなっている。
	年度間比較	昨年度、一昨年度と比較して評価度が低くなっている。
	男女間比較	女子の方が評価度は0.24ポイント高い。
	学年間比較	「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答している保護者は1学年で15%いる。
職員	今年度全体特徴	生徒・保護者と比較すると、高い割合の職員が生徒の挨拶ができていないと考えている。
	年度間比較	評価度は年度を追うごとに下がってきている。
	学年間比較	特に1学年と3学年で多くの職員が生徒の挨拶ができていないと考えている。
全体	ほとんどの生徒は挨拶に関する自己評価が高いものの、保護者の評価は少しずつ下がってきている。また、職員の評価は低い。挨拶のあり方について生徒と職員の間で意識の差があると考えられ、生徒に正しい挨拶を指導する必要がある。	

21 学校生活リズム

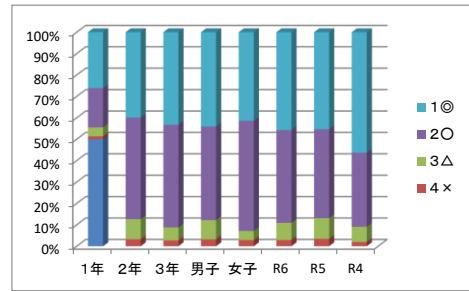
生徒

【生徒用】

21 自分は、遅刻をせず、学校生活のリズムを身につけている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	52%	40%	43%	44%	41%	46%	45%	56%
2○	だいたい当てはまる	1	37%	48%	48%	44%	51%	43%	42%	35%
3△	あまり当てはまらない	-1	8%	9%	6%	9%	4%	8%	10%	7%
4×	当てはまらない	-2	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	2%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	649
評価度 (-2~2)			→ 1.28	1.11	1.23	1.16	1.24	1.21	1.16	1.36

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

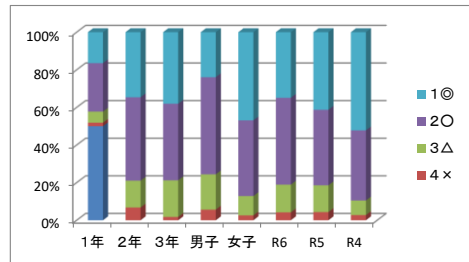


【保護者用】

21 お子さんは、遅刻をせず、学校生活のリズムを身につけている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	33%	35%	38%	24%	47%	35%	41%	52%
2○	だいたい当てはまる	1	52%	44%	41%	52%	40%	46%	40%	37%
3△	あまり当てはまらない	-1	12%	14%	19%	19%	10%	15%	14%	8%
4×	当てはまらない	-2	4%	7%	2%	6%	3%	4%	4%	3%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	542
評価度 (-2~2)			→ 0.98	0.86	0.94	0.69	1.19	0.93	1.00	1.28

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

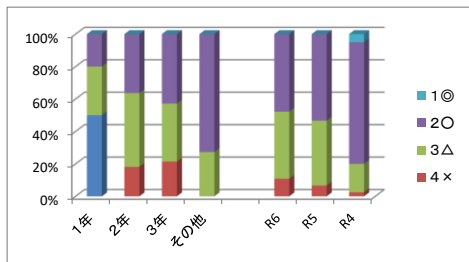


【職員用】

21 生徒は、遅刻をせず、学校生活のリズムを身につけている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	5%
2○	だいたい当てはまる	1	40%	36%	43%	73%		47%	53%	75%
3△	あまり当てはまらない	-1	60%	45%	36%	27%		40%	40%	18%
4×	当てはまらない	-2	0%	18%	21%	0%		11%	7%	3%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ -0.20	-0.45	-0.36	0.45		-0.15	0.00	0.63

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した生徒が89%おり、生活のリズムを身に付けられていると考えている。
	年度間比較	評価度は昨年度よりも0.05ポイント高くなっている。生活のリズムを身に付けられていないと考えている生徒の割合が、昨年同様10%を超えている。
	男女間比較	男子の方が女子よりも評価度が0.08ポイント低くなっている。
	学年間比較	2学年の評価度が極端に低くなっている。
保護者用	今年度全体特徴	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答した保護者が81%いるが、生徒より8%低くなっている。
	年度間比較	昨年度と比べて評価度が0.07ポイント低くなっている。
	男女間比較	男子の方が女子よりも評価度が0.5ポイント低くなっている。
	学年間比較	3学年の評価度が低い。
職員	今年度全体特徴	約半数の職員が「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答している。
	年度間比較	昨年度から0.15ポイントの減少と、評価が急落している。
	学年間比較	2学年と3学年での評価度が低く、特に3学年では21%の職員が「当てはまらない」と回答している。
全体	学校生活リズムについて生徒の自己評価は比較的高くなっている。保護者と職員の評価が下がってきており、特に職員の評価が急落しているという点については、制服や頭髮の傾向と同じである。特に生徒の遅刻についての認識を正す指導が必要である。	

22 思いやりの心

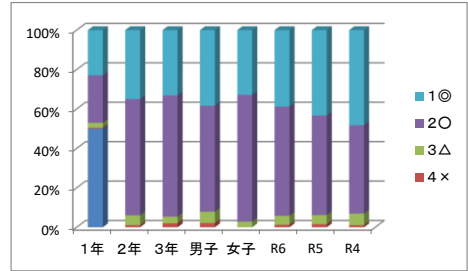
生徒

【生徒用】

22 自分は、思いやりや助け合いの心でクラスの友達に接している。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	46%	35%	33%	38%	33%	39%	43%	48%
2○	だいたい当てはまる	1	48%	59%	61%	54%	64%	55%	51%	45%
3△	あまり当てはまらない	-1	5%	5%	3%	6%	3%	5%	5%	6%
4×	当てはまらない	-2	1%	1%	2%	2%	0%	1%	2%	1%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	649
評価度 (-2~2)			→ 1.33	1.22	1.20	1.20	1.27	1.26	1.29	1.33

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

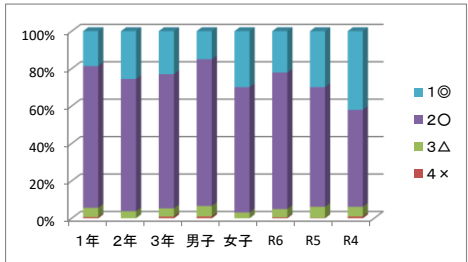


【保護者用】

22 お子さんは、思いやりや助け合いの心でクラスの友達に接している。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	19%	26%	23%	15%	30%	22%	30%	42%
2○	だいたい当てはまる	1	76%	71%	72%	78%	67%	73%	64%	52%
3△	あまり当てはまらない	-1	5%	4%	4%	6%	3%	4%	6%	5%
4×	当てはまらない	-2	1%	0%	1%	1%	0%	0%	0%	1%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	540
評価度 (-2~2)			→ 1.07	1.18	1.12	1.01	1.24	1.12	1.17	1.29

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

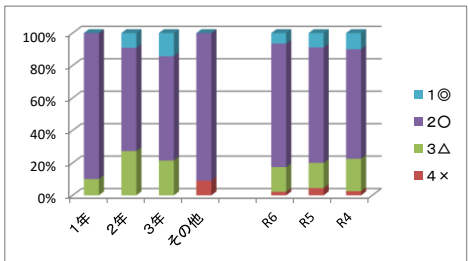


【職員用】

22 生徒は、思いやりや助け合いの心でクラスの友達に接している。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	9%	14%	0%		6%	9%	10%
2○	だいたい当てはまる	1	90%	64%	64%	91%		74%	71%	68%
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	27%	21%	0%		15%	16%	20%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	9%		2%	4%	3%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ 0.80	0.55	0.71	0.73		0.68	0.64	0.63

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	多くの生徒が、思いやりや助け合いの心でクラスの友達に接していると自負している。
	年度間比較	評価度は昨年度よりも0.03ポイント低くなった。
	男女間比較	男子の方が女子よりも評価度が0.07ポイント低くなっている。
	学年間比較	どの学年も思いやりの心をもって仲間と接している。1学年が他学年よりも高くなっている。
保護者用	今年度全体特徴	昨年度と比較して評価度が下がっている。
	年度間比較	評価度は昨年度よりも0.05ポイント低くなっている。
	男女間比較	男子の保護者が女子の保護者よりも評価度が0.23ポイント低くなっている。
	学年間比較	学年間で大きな差は見られないが、2学年の保護者の評価度が高くなっている。
職員用	今年度全体特徴	昨年度、一昨年度と比較して評価度がわずかではあるが高くなっている。
	年度間比較	評価度は昨年度よりも0.04ポイント高くなっている。
	学年間比較	1学年の職員の評価度がやや高くなっている。2学年では27%の職員が、「あまり当てはまらない」と回答している。
全体	生徒の自己評価や保護者の評価に比べて、職員の評価の低さが特徴的である。職員が考える思いやりや助け合いの心の発露を、粘り強く生徒に指導していく必要がある。	

23 通学マナー

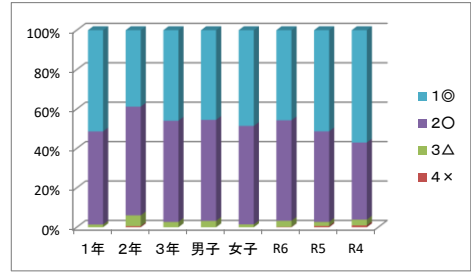
生徒

【生徒用】

23 自分は、自転車やバスの通学マナーを守っている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	51%	39%	46%	46%	49%	46%	51%	57%
2○	だいたい当てはまる	1	47%	55%	51%	51%	50%	51%	46%	39%
3△	あまり当てはまらない	-1	1%	5%	3%	3%	1%	3%	2%	3%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	1%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	649
評価度 (-2~2)			→ 1.49	1.26	1.41	1.39	1.46	1.39	1.45	1.48

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

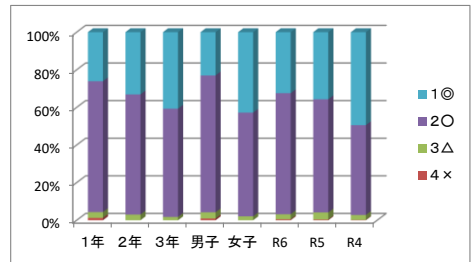


【保護者用】

23 お子さんは、自転車やバスの通学マナーを守っている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	26%	33%	41%	23%	43%	32%	36%	49%
2○	だいたい当てはまる	1	70%	64%	58%	73%	55%	64%	60%	48%
3△	あまり当てはまらない	-1	3%	3%	2%	3%	2%	3%	4%	3%
4×	当てはまらない	-2	1%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	0%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	538
評価度 (-2~2)			→ 1.16	1.27	1.37	1.14	1.39	1.25	1.27	1.44

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

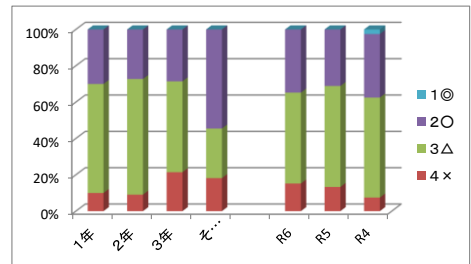


【職員用】

23 生徒は、自転車やバスの通学マナーを守っている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	3%
2○	だいたい当てはまる	1	30%	27%	29%	55%		34%	31%	35%
3△	あまり当てはまらない	-1	60%	64%	50%	27%		49%	56%	55%
4×	当てはまらない	-2	10%	9%	21%	18%		15%	13%	8%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ -0.50	-0.55	-0.64	-0.09		-0.45	-0.51	-0.30

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	ほとんどの生徒が通学マナーを守っていると回答している。
	年度間比較	評価度は昨年度よりも0.06ポイント低くなっている。
	男女間比較	男女どちらも9割強の生徒が良好であると自負している。
	学年間比較	1学年・3学年では評価度に大きな差異はないが、2学年の評価度が低くなっている。
保護者用	今年度全体特徴	生徒同様に9割の保護者が子ども達の通学マナーが良好であると回答している。
	年度間比較	評価度は昨年度よりも0.02ポイント低くなっている。
	男女間比較	男子の保護者よりも女子の保護者の方が評価度が高くなっている。
	学年間比較	2学年の評価度が高くなっている。
職員用	今年度全体特徴	「あまり当てはまらない」「当てはまらない」と回答している職員が64%いる。
	年度間比較	評価度は昨年度よりも0.06ポイント高くなっているが、評価度はマイナスで推移している。
	学年間比較	3学年の評価度が最も低くなっている。
全体	生徒自身は通学マナーを十分守っていると回答し、保護者も生徒同様に比較的高く評価をしている。一方で職員の多くは生徒の通学マナーはあまり良好ではないと回答しており、生徒との認識に大きな差が見られる。外部から頻繁にクレームが来ている実態や交通事故の実例などを、生徒だけでなく保護者にも周知し、通学マナーの遵守について、指導を徹底していなければならないと考える。	

24 模試

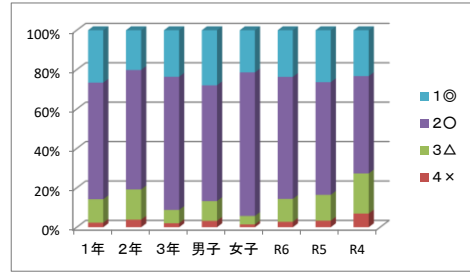
進路

【生徒用】

24 模擬試験は、生徒にとって大学受験に対応できる学力の養成に役立っている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6	R5	R4	
			1年	2年	3年	男子	女子	計	計	計	
1◎	よく当てはまる	2	27%	20%	24%	28%	21%	24%	26%	23%	
2○	だいたい当てはまる	1	59%	61%	68%	59%	73%	62%	57%	49%	
3△	あまり当てはまらない	-1	12%	15%	7%	10%	4%	12%	13%	20%	
4×	当てはまらない	-2	2%	4%	2%	3%	1%	3%	3%	7%	
人数計			218	183	148	279	270	549	633	648	
評価度 (-2~2)			→	0.96	0.78	1.04	0.98	1.09	0.92	0.90	0.62

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

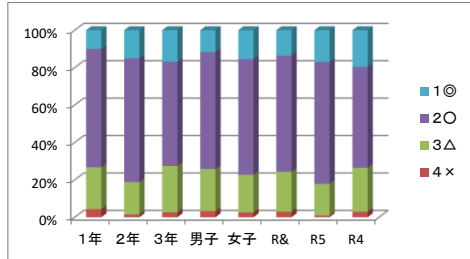


【保護者用】

24 模擬試験は、生徒にとって大学受験に対応できる学力の養成に役立っている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R&	R5	R4	
			1年	2年	3年	男子	女子	計	計	計	
1◎	よく当てはまる	2	10%	15%	17%	12%	15%	13%	17%	20%	
2○	だいたい当てはまる	1	63%	66%	56%	62%	62%	62%	65%	54%	
3△	あまり当てはまらない	-1	22%	17%	25%	23%	20%	21%	17%	23%	
4×	当てはまらない	-2	4%	2%	3%	3%	3%	3%	1%	3%	
人数計			161	133	113	213	194	407	555	541	
評価度 (-2~2)			→	0.52	0.76	0.59	0.57	0.68	0.62	0.80	0.64

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

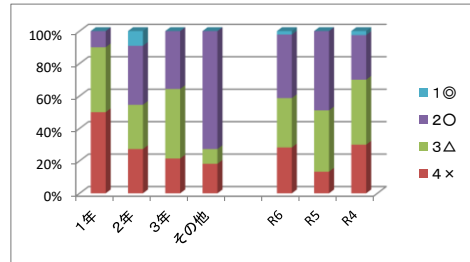


【職員用】

24 模擬試験は、生徒にとって大学受験に対応できる学力の養成に役立っている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6	R5	R4	
			1年	2年	3年	その他		計	計	計	
1◎	よく当てはまる	2	0%	9%	0%	0%		2%	0%	3%	
2○	だいたい当てはまる	1	10%	36%	36%	73%		38%	49%	28%	
3△	あまり当てはまらない	-1	40%	27%	43%	9%		30%	38%	40%	
4×	当てはまらない	-2	50%	27%	21%	18%		28%	13%	30%	
人数計			10	11	14	11		46	45	40	
評価度 (-2~2)			→	-1.30	-0.27	-0.50	0.27		-0.43	-0.16	-0.68

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	模擬試験が学力の養成に役立っていると感じている生徒の割合は昨年度と同様の8割台であるが、昨年度よりも若干上昇している。
	年度間比較	年度を経るごとに評価度は上昇している。
	男女間比較	女子の方が男子と比較して評価がやや高くなっており、昨年度とは逆の傾向である。
	学年間比較	2学年の評価度が最も低くなっている。
保護者用	今年度全体特徴	模擬試験が学力の養成に役立っていると感じている保護者の割合は昨年度よりも下がり、75%となっている。
	年度間比較	評価度は昨年度よりも低下し、一昨年と同様の水準となった。
	男女間比較	女子の保護者の評価度の方が男子の保護者よりも高くなっており、昨年度と逆の傾向となっている。
	学年間比較	2学年の評価度が最も高い。
職員	今年度全体特徴	生徒・保護者と大きく異なり、職員の半数以上が、模擬試験が学力養成に役立っていないと感じている。
	年度間比較	「当てはまらない」が倍増している。
	学年間比較	1学年では9割の教員が学力養成に役立っていないと捉えており、他学年と比較しても圧倒的に否定的な意見が多い。
全体	例年模擬試験に関する評価は生徒・保護者と職員の間で大きな違いが出ており、特に職員の否定的な意見が特徴的である。模擬試験はそれだけで学力を底上げるツールではなく、事前・事後指導やそれぞれの時期での課題意識を生徒に浸透させること、あるいは模試結果から生徒の傾向をつかむ教員のプロファイリング能力を向上させることなどとセットで捉えるべきものであるが、評価結果からはそのような模試の活用の仕方が職員間で共有されていない様子が窺われる。生徒の学力観、進路観については、引き続き職員間で共通理解を得ていく必要があるだろう。	

25 図書館

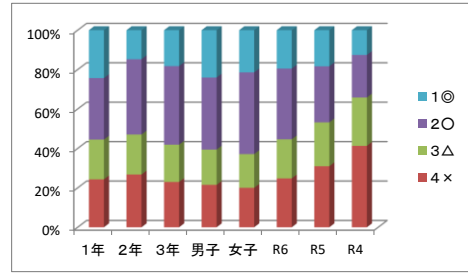
総務

【生徒用】

25 自分は図書館で本を借りたり、読書や学習に利用したりしている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	24%	15%	18%	24%	21%	19%	18%	13%	
2○	だいたい当てはまる	1	31%	38%	40%	37%	41%	36%	28%	22%	
3△	あまり当てはまらない	-1	20%	20%	19%	18%	17%	20%	22%	25%	
4×	当てはまらない	-2	24%	27%	23%	22%	20%	25%	31%	41%	
人数計			218	183	148	279	270	549	633	644	
評価度 (-2~2)			→	0.11	-0.06	0.11	0.24	0.27	0.05	-0.19	-0.60

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

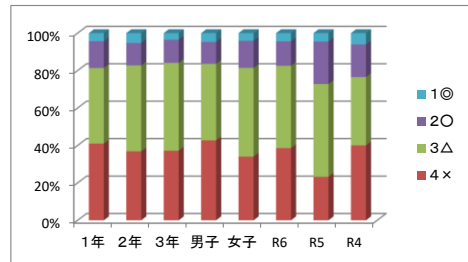


【保護者用】

25 お子さんは、図書館で本を借りたり、読書や学習に利用したりしている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	4%	5%	4%	5%	4%	4%	5%	6%	
2○	だいたい当てはまる	1	14%	12%	12%	12%	14%	13%	23%	17%	
3△	あまり当てはまらない	-1	40%	46%	47%	41%	47%	44%	50%	37%	
4×	当てはまらない	-2	41%	37%	37%	43%	34%	38%	23%	40%	
人数計			161	133	113	213	194	407	555	545	
評価度 (-2~2)			→	-0.99	-0.97	-1.02	-1.05	-0.93	-0.99	-0.64	-0.87

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

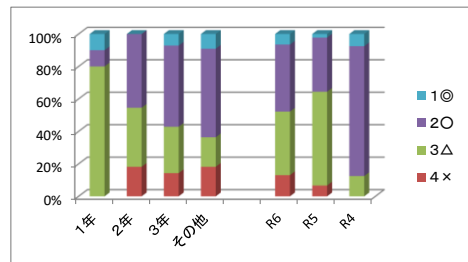


【職員用】

25 生徒は、図書館で本を借りたり、読書や学習に利用したりしている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	10%	0%	7%	9%		6%	2%	8%	
2○	だいたい当てはまる	1	10%	45%	50%	55%		40%	33%	80%	
3△	あまり当てはまらない	-1	80%	36%	29%	18%		38%	58%	13%	
4×	当てはまらない	-2	0%	18%	14%	18%		13%	7%	0%	
人数計			10	11	14	11		46	45	40	
評価度 (-2~2)			→	-0.50	-0.27	0.07	0.18		-0.11	-0.33	0.83

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	55%の生徒が図書館を利用していると回答している。昨年度と比較して、プラスの評価をした生徒が増加した。
	年度間比較	評価度は昨年度よりも0.24ポイント上昇している。
	男女間比較	肯定的評価に男女差は見られない。
	学年間比較	学年別では2学年の評価が最も低い。
保護者用	今年度全体特徴	生徒や職員と比較すると、保護者の評価度が最も低くなっている。
	年度間比較	昨年度より評価度が0.35ポイント下がった。
	男女間比較	男子と女子の保護者の評価度に差異はない。
	学年間比較	各学年で評価度に差異はない。
職員用	今年度全体特徴	昨年度と比較して肯定的評価が増加した。
	年度間比較	昨年度35%の職員が生徒は「図書館を利用している」と回答していたが、今年度は46%と増加した。
	学年間比較	職員は全体的に生徒の図書館利用が少ないと認識しているが、特に1学年では8割の職員がそう考えている。
全体	図書館利用については生徒がプラス評価であった。保護者には、図書館報などで生徒が図書館を利用している状況をお知らせしたい。職員には授業や学習スペースとしてだけでなく、多くの場面で生徒の図書館利用を促してもらいたい。	

26 清掃活動等

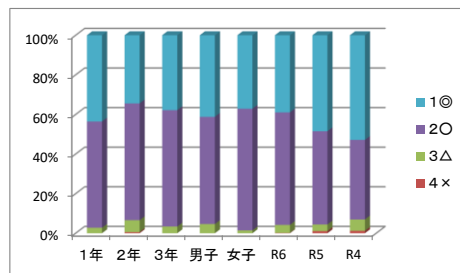
保厚

【生徒用】

26 清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	44%	34%	38%	41%	37%	39%	48%	53%
2○	だいたい当てはまる	1	54%	59%	59%	54%	61%	57%	47%	40%
3△	あまり当てはまらない	-1	3%	6%	3%	5%	1%	4%	3%	6%
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	1%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	647
評価度 (-2~2)			→ 1.38	1.21	1.31	1.32	1.34	1.30	1.39	1.38

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

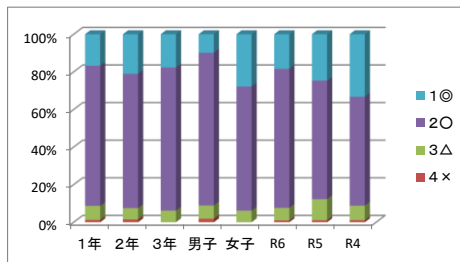


【保護者用】

26 お子さんは、清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	17%	21%	18%	10%	28%	18%	25%	33%
2○	だいたい当てはまる	1	75%	71%	76%	81%	66%	74%	63%	58%
3△	あまり当てはまらない	-1	7%	6%	6%	7%	6%	7%	11%	8%
4×	当てはまらない	-2	1%	2%	0%	2%	0%	1%	1%	1%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	545
評価度 (-2~2)			→ 0.98	1.05	1.05	0.90	1.15	1.02	0.99	1.14

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

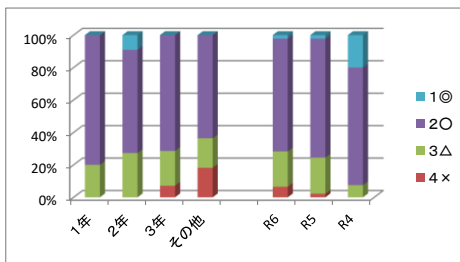


【職員用】

26 生徒は、清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	0%	9%	0%	0%		2%	2%	20%
2○	だいたい当てはまる	1	80%	64%	71%	64%		68%	73%	73%
3△	あまり当てはまらない	-1	20%	27%	21%	18%		21%	22%	8%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	7%	18%		6%	2%	0%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ 0.60	0.55	0.36	0.09		0.38	0.51	1.05

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	90%以上の生徒が、清掃活動など、学校における自分の役割分担をきちんとこなしているという意識をもっている。
	年度間比較	評価度は昨年度、一昨年度とほぼ同じである。
	男女間比較	女子の評価度がわずかに高い。
	学年間比較	2学年の評価が他に比べて若干低い。
保護者用	今年度全体特徴	自分の子供が役割を果たしているという意識が増加している傾向にある。
	年度間比較	昨年度より評価が上昇している。
	男女間比較	女子の保護者の評価度が高い傾向にある。
	学年間比較	今年度は3学年の保護者の評価度が上がっている。
職員	今年度全体特徴	生徒達の役割分担について生徒や保護者との温度差が非常に大きくなっている。
	年度間比較	生徒たちが学校における自分の役割分担をきちんとこなしていると感じている職員が年々減少傾向にある。
	学年間比較	1年生の評価が高いが、2・3学年で評価が低くなっている。
全体	生徒たちは清掃活動や自分の役割分担をきちんとこなしていると前向きに捉えている。一方で教員の評価は低く、特に2・3年での評価が低くなっている。制服や頭髪など、常識や道徳に関わる項目全般でこの生徒・保護者の評価と職員の評価の間の乖離が見られる。掃除の仕方や役割の務め方など、根気強く指導する必要がある。	

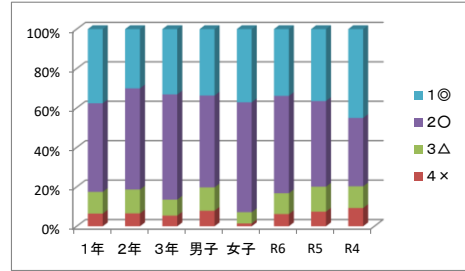
27 スクールカウンセリング

保厚

【生徒用】

27 スクールカウンセリングの制度を知っている。

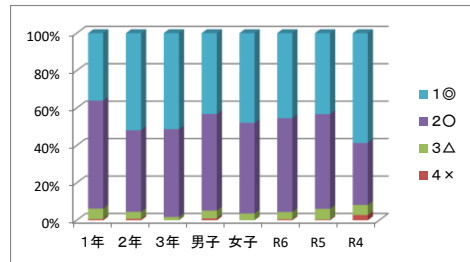
no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	38%	30%	33%	34%	37%	34%	36%	45%
2○	だいたい当てはまる	1	45%	51%	53%	47%	56%	49%	43%	35%
3△	あまり当てはまらない	-1	11%	12%	8%	12%	6%	11%	13%	11%
4×	当てはまらない	-2	6%	7%	5%	8%	1%	6%	7%	9%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	646
評価度 (-2~2)			→ 0.96	0.86	1.01	0.86	1.21	0.94	0.89	0.95
			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



【保護者用】

27 スクールカウンセリングが学校で行われていることを知っている。

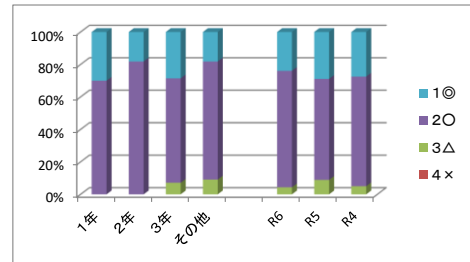
no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	36%	52%	51%	43%	48%	45%	43%	59%
2○	だいたい当てはまる	1	58%	44%	47%	52%	48%	50%	51%	33%
3△	あまり当てはまらない	-1	6%	4%	2%	4%	4%	4%	6%	5%
4×	当てはまらない	-2	1%	1%	0%	1%	0%	0%	0%	3%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	538
評価度 (-2~2)			→ 1.23	1.42	1.48	1.32	1.41	1.36	1.31	1.40
			100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%



【職員用】

27 生徒・保護者に、スクールカウンセリングの制度は浸透している。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	30%	18%	29%	18%		23%	29%	28%
2○	だいたい当てはまる	1	70%	82%	64%	73%		70%	62%	68%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	0%	7%	9%		4%	9%	5%
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	0%		0%	0%	0%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ 1.30	1.18	1.14	1.00		1.13	1.11	1.18
			100%	100%	100%	100%	0%	98%	100%	100%



生徒用	今年度全体特徴	スクールカウンセリングの認知度は、8割以上となっている。
	年度間比較	カウンセリング制度の認知度は、年々高くなる傾向にある。
	男女間比較	男子よりも女子の認知度が高い。
	学年間比較	学年が上がるにつれて認知度が上がる傾向であったが、今年度は1年生の認知度も高くなっている。
保護者用	今年度全体特徴	スクールカウンセリングの認知度は昨年度に続き90%を超えている。
	年度間比較	今年度も95%と高い水準を維持し、保護者の関心度が高いことがうかがわれる。
	男女間比較	生徒の傾向には男女差があるが、保護者に関しては差異はほぼない。
	学年間比較	2学年が若干高めである。
職員	今年度全体特徴	職員の90%以上が、スクールカウンセリングが生徒や各家庭に浸透してきていると認識している。
	年度間比較	評価度は高く推移している。
	学年間比較	3学年の評価度が他学年に比べて低くなっている。
全体	月ごとに、スクールカウンセリングの日程を一斉メールなどを利用して周知している。その成果が出ているものと見られる。また、1年生からのカウンセリング利用も増加傾向にあり、それらの需要の高まりも認知度の上昇に大きく影響している可能性がある。	

28 健康診断

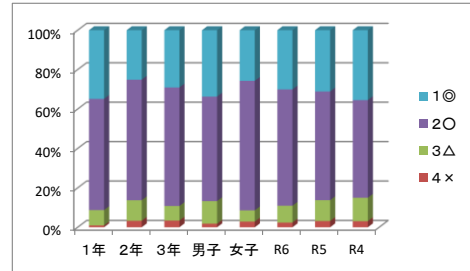
保厚

【生徒用】

28 健康診断等の結果は、自分の健康管理に生かされている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	35%	25%	29%	34%	26%	30%	31%	35%	
2○	だいたい当てはまる	1	56%	61%	60%	53%	66%	59%	55%	50%	
3△	あまり当てはまらない	-1	8%	10%	7%	11%	6%	9%	11%	12%	
4×	当てはまらない	-2	1%	3%	3%	2%	3%	2%	3%	3%	
人数計			218	183	148	279	270	549	633	648	
評価度 (-2~2)			→	1.17	0.94	1.04	1.05	1.06	1.06	1.00	1.02

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

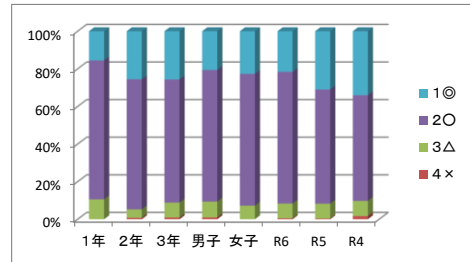


【保護者用】

28 健康診断等の結果は、お子さんの健康管理に生かされている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	男子	女子				
1◎	よく当てはまる	2	16%	26%	26%	21%	23%	22%	31%	34%	
2○	だいたい当てはまる	1	74%	69%	65%	70%	70%	70%	61%	56%	
3△	あまり当てはまらない	-1	11%	5%	8%	8%	7%	8%	8%	8%	
4×	当てはまらない	-2	0%	1%	1%	1%	0%	0%	0%	2%	
人数計			161	133	113	213	194	407	555	543	
評価度 (-2~2)			→	0.94	1.14	1.07	1.01	1.08	1.04	1.14	1.13

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

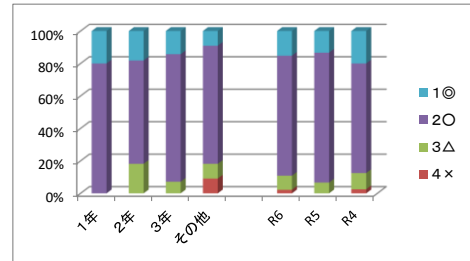


【職員用】

28 健康診断等の結果は、生徒の健康管理に生かされている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計	
			1年	2年	3年	その他					
1◎	よく当てはまる	2	20%	18%	14%	9%		15%	13%	20%	
2○	だいたい当てはまる	1	80%	64%	79%	73%		72%	80%	68%	
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	18%	7%	9%		9%	7%	10%	
4×	当てはまらない	-2	0%	0%	0%	9%		2%	0%	3%	
人数計			10	11	14	11		46	45	40	
評価度 (-2~2)			→	1.20	0.82	1.00	0.64		0.89	1.00	0.93

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	概ね健康診断が健康管理に生かされていると考えられている。
	年度間比較	健康診断の結果が健康管理に生かされていると考えている生徒の割合は増加している。
	男女間比較	男女の差はない。
	学年間比較	1年生の評価度が高い
保護者用	今年度全体特徴	90%以上の保護者が、健康診断が健康管理に生かされていると考えている。
	年度間比較	健康診断の結果が健康管理に生かされていると評価している保護者の割合は昨年度とほぼ同じである。
	男女間比較	若干、女子生徒の保護者の評価度が高い。
	学年間比較	2年生の保護者の評価度が低くなっている。
職員	今年度全体特徴	概ね健康診断が健康管理に生かされていると考えられている。
	年度間比較	「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計については、昨年に比べ低くなっている。
	学年間比較	2年生の評価度がやや低い傾向にある。
全体	学校としては、健康診断から医療機関につなげることは生徒が学校生活を送るうえで重要であると考えており、健康診断の結果については、速やかに保護者に通知し、受診勧告を行ってきた。その成果が表れていると考えられる。	

29 環境整備

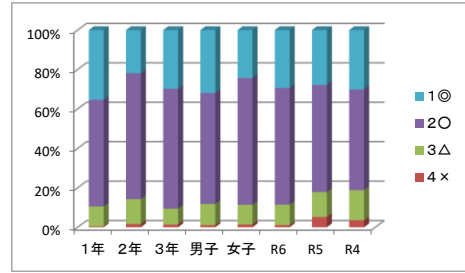
保厚

【生徒用】

29 校地内の環境整備・緑化等がなされている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	35%	22%	30%	32%	24%	29%	28%	30%
2○	だいたい当てはまる	1	54%	64%	61%	56%	64%	59%	54%	51%
3△	あまり当てはまらない	-1	10%	13%	8%	11%	10%	10%	13%	15%
4×	当てはまらない	-2	0%	2%	1%	1%	1%	1%	5%	4%
人数計			218	183	148	279	270	549	633	647
評価度 (-2~2)			→ 1.14	0.92	1.09	1.07	1.00	1.05	0.87	0.89

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

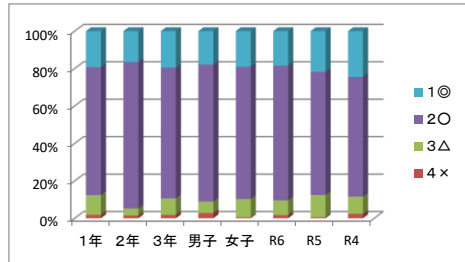


【保護者用】

29 校地内の環境整備・緑化等がなされている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	男子	女子			
1◎	よく当てはまる	2	19%	17%	19%	18%	19%	18%	22%	24%
2○	だいたい当てはまる	1	68%	78%	70%	73%	71%	72%	66%	64%
3△	あまり当てはまらない	-1	11%	4%	9%	6%	10%	8%	12%	9%
4×	当てはまらない	-2	2%	2%	2%	3%	1%	2%	1%	2%
人数計			161	133	113	213	194	407	555	543
評価度 (-2~2)			→ 0.93	1.05	0.96	0.97	0.98	0.97	0.96	0.99

100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100%

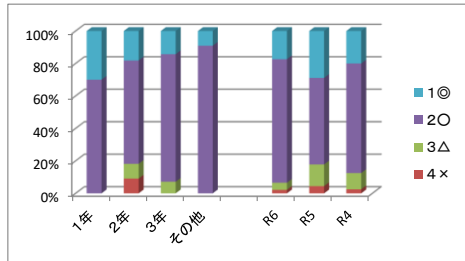


【職員用】

29 校地内の環境整備・緑化等がなされている。

no	選択肢	評価値	R6 (%)					R6 計	R5 計	R4 計
			1年	2年	3年	その他				
1◎	よく当てはまる	2	30%	18%	14%	9%		17%	29%	20%
2○	だいたい当てはまる	1	70%	64%	79%	91%		74%	53%	68%
3△	あまり当てはまらない	-1	0%	9%	7%	0%		4%	13%	10%
4×	当てはまらない	-2	0%	9%	0%	0%		2%	4%	3%
人数計			10	11	14	11		46	45	40
評価度 (-2~2)			→ 1.30	0.73	1.00	1.09		1.00	0.89	0.93

100% 100% 100% 100% 0% 98% 100% 100%



生徒用	今年度全体特徴	評価度は年々高くなっている。
	年度間比較	ここ数年は評価度は高い水準で推移している。
	男女間比較	男女とも同じ評価である
	学年間比較	3学年がより周囲の状況を見ていると考えられる。
保護者用	今年度全体特徴	全体的に概ね満足しているといえる。
	年度間比較	昨年度とほぼ同水準で推移している。
	男女間比較	男女はほぼ同じ水準である。
	学年間比較	各学年で評価度は大きく変わらない。
職員	今年度全体特徴	学年によって差異はあるが昨年よりも評価は上がっている。
	年度間比較	昨年度よりも評価は上がっている。
	学年間比較	2学年と他学年で差があり、環境整備等の不備の改善などを図りたい。
全体	エアコンの未設置箇所や老朽化が進む箇所がある。修繕を適宜行ってもらったり丁寧に使用してもらっているお陰で全体的に評価は高い。	